

第1号議案

令和5年度 事業報告及び決算報告並びに監査報告について

令和5年度 重点事業報告

わが国では、少子高齢社会の人口及び疾病構造を見据えた社会保障制度改革、特に医療制度改革が進められている。千葉県においても「保健医療計画」「高齢者保健福祉計画」等により、県民一人ひとりが健やかに地域で暮らし、心豊かに長寿を全うできる総合的な保健医療福祉システムづくりや、高齢者が安心して暮らし続けられる地域社会の実現を目指し、2025年を見据えて、地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築・推進など様々な事業が進められている。

さらに、団塊ジュニアが高齢者となる一方で支える人口が減少するなどの様々な社会情勢の大きな変化が見込まれる2040年に向け、近年頻発する自然災害や収束が見えない新興感染症の拡大などの健康危機管理問題への対応なども含めた一層の制度や体制の整備が求められ、第8次医療計画にも反映されるように取り組む必要がある。

このような状況の中、看護職不足は全国的な課題であり、地域の実情に応じた地域医療構想との整合性の確保や地域間偏在是正などの観点を踏まえ検討されている。本県においても2025年には約8,800人の看護職不足が推計されており、看護職の定着・確保対策は喫緊の課題である。加えて、近年の広範囲にわたる災害への対策、収束が見えない新型コロナウイルス感染症対策など県民の生命と生活を脅かす緊急事態が継続しており、医療・看護に対する期待が大きい中、地域別偏在・領域別偏在などの課題について丁寧な議論と継続的な人材確保について計画に明記することが必要となっている。

また、少子超高齢多死社会に向けて、医療は病院完結型から地域完結型への移行が加速し、ますます増加する医療依存度の高い在宅療養者や障がい者への支援、社会を支える次世代の子どもたちの健全な育成が求められている。この課題を解決するためには、在宅療養者・障がい者・子育て世代と、専門職や地域住民、自治体等が協働して支える自助・共助・公助のしくみとして、「全世代を対象とした地域包括ケアシステム」の構築・推進が必要であり、在宅医療を支える人材育成、関係機関・団体との連携体制の構築、看一看護連携や多職種とのネットワークづくり（地域連携）、訪問看護への総合的な支援等地域の実情に応じて看護の視点で健康に関する地域課題を共有し、生活の場である地域において切れ目のないケア提供ができるよう進めていく必要があると考えている。

医療政策の分野では、地方分権の推進が進められており、看護職に関わる政策・事業の多くが国から地方に移行している。看護職の機能と役割を十分に発揮するため、今後は一層千葉県、市町村と連携した政策策定への参画と看護政策の推進が重要となる。職能団体として、看護職に関わる様々な課題の解決を進め、地域の各実践の場において、看護職が的確に役割を果たすためには、医療・看護に係る政策の推進役となる本協会が、戦略的・継続的に看護政策を推進する力をつけていくことが必要となっている。そのためには会員増が必要不可欠であり、入会促進活動の推進とともに、職能間の連携強化が必要である。

以上により、令和5年度千葉県看護協会は、社会の動向を見据え、看護職が果たすべき役割を見極めながら、看護の専門性を発揮し、県民の健康な生活を支えるべく、令和4年度に取り組んできた5つの重点事業を充実し、「地域における看護職の定着・確保」「質の高い看護の提供の構築・推進」「全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進」「地域における健康危機管理体制の強化」「組織基盤の強化」とし、地域において全世代の健康を支える取組みを継続的に進めることとして、事業を展開していく。

令和5年度 重点事業

- 1 地域における看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の強化
- 5 組織基盤の強化

重点事業：

- 1-1 第5次看護職定着・確保の推進
- 1-2 ヘルシーワークプレイスの推進
- 1-3 ナースセンター事業の推進
- 1-4 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保
- 1-5 地域包括ケアを実現するための人材確保（保健師・訪問看護師等）

- 2-1 生涯教育の推進
- 2-2 看護研究学会の開催
- 2-3 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発
- 2-4 特定行為研修制度の普及・活用
- 2-5 中小規模病院看護管理者の育成
- 2-6 医療安全対策の推進

- 3-1 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進
- 3-2 地域連携強化と多職種連携会議への参画
- 3-3 訪問看護・看多機の推進

- 4-1 新興感染症等パンデミックへの対応体制の強化
- 4-2 大規模災害発生時の対応体制の強化
- 4-3 協会における事業継続計画（BCP）の策定

- 5-1 会員の定着・確保・拡大
- 5-2 看護政策推進力の強化

1 地域における看護職の定着・確保の推進

1-1 第5次看護職定着・確保の推進

実施内容

1. 第5次看護職定着確保推進計画の普及・推進

- 1) 看護職定着確保推進計画の中間評価
- 2) 看護職定着確保対策協議会の開催 年1回
- 3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発
 - (1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報
 - (2) 各種協会事業を通じた普及

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

当協会では、2020年より健康の保持増進、疾病予防、病気や障がいがあっても自分らしい生活が送れるよう「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現を目指している。本県は特に慢性的な看護師不足が続いており、地域偏在や領域別偏在が指摘されている。このような中で、令和3年度から5年間計画となる第5次看護職定着・確保推進計画を作成し、目標を達成するための設定指標（数値目標）を設定して各事業を推進している。令和5年度は計画の中間評価年であり、進捗状況の確認と共に設定指標の評価を実施する。

成果

- 1) 看護職定着確保推進計画の中間評価 看護職定着確保対策協議会で評価実施
- 2) 看護職定着確保対策協議会 1/11 集合開催 委員10名出席
- 3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発
 - (1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報掲載継続
 - (2) 各種協会事業を通じた普及

1 地域における看護職の定着・確保の推進

1-2 ヘルシーワークプレイスの推進

(健康で安全な職場づくりの取り組み)

実施内容

1. ヘルシーワークプレイス推進事業

- 1) ヘルシーワークプレイス取組み宣言施設の増加
- 2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進
 - (1) ホームページ及び「看護ちば」
 - (2) ヘルシーワークプレイス取組み施設交流会
 - (3) 職員の健康づくりの取組事例の紹介
- 3) ヘルシーワークプレイス研修 (再掲)
- 4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化
 - (1) 電話相談
 - (2) 施設支援
- 5) ハラスメント対策強化への働きかけ

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

千葉県では慢性的な看護師不足や離職率が高い状況が続いており、看護職定着・確保推進計画の目標に「質の高い医療・看護を提供するため、看護職が働き続けられる職場づくりの推進」を掲げ、ヘルシーワークプレイスの推進事業等に取り組んでいる。これまでの取組から、労働条件や処遇改善、ハラスメント対策、子育て支援制度の整備、多様な勤務形態の導入などの効果がみられたが、相談窓口には多岐にわたる相談が寄せられている現状がある。

引き続き、ヘルシーワークプレイスの実現に向けて、ヘルシーワークプレイスガイドライン（日本看護協会2004年度策定）の活用を図りながら取組むこととする。推進にあたっては、ヘルシーワークプレイス取組み施設の交流やハラスメント対策の強化等をとおして、県内施設が健康で安全な職場を目指せるよう支援する。

成果

- 1) ヘルシーワークプレイス取組み宣言施設の増加 応募施設 3施設
- 2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進
 - (1) ホームページ及び「看護ちば」 145号(4月)、146号(7月)、147号(10月)、148号(1月)
 - (2) ヘルシーワークプレイス取組み施設交流会 10/5 参加者 54名
- 4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化
 - (1) 相談 63件 相談案内カード・チラシを作成、随時配布
 - (2) 施設支援 45件
- 5) ハラスメント対策強化への働きかけ
ハラスメント防止啓発リーフレットの作成9,000部 会員・会員施設7,500部配布

1 地域における看護職の定着・確保の推進

1-3 ナースセンター事業の推進

(安定的な定着・確保対策の実践、再就業支援等)

実施内容

1. ナースセンター事業

- 1) 看護職の定着確保に係る実態調査
- 2) 看護職の無料職業紹介
- 3) 届出制度
- 4) 未就業看護職の就業支援
- 5) ナースセンター運営委員会
- 6) ナースセンター事業の広報
- 7) 日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携
- 8) 看護職への相談支援
- 9) 看護進路相談事業
 - (1) 出前授業
 - (2) ふれあい看護体験
 - (3) 進路相談
- 10) 訪問看護再就業支援事業

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、千葉県から看護協会が「千葉県ナースセンター」として指定を受け事業を実施している。

千葉県の就業看護職の現状は、平成30年の従事者届によると、人口10万対で全国46位と厳しい水準にあり、2025年には約8800人の看護職が不足すると見込まれている。

ナースセンターを介した再就業者は年々増加しているものの、求人施設と求職者の登録促進とマッチングの強化が課題である。併せて、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、医療現場・保健所・療養施設・ワクチン接種等の求人が増加したことから、今後、ナースセンターの認知度を高める取組みを強化し、求人施設・求職者の活用拡大を図ることが必要である。

成果

- 1) 看護職の定着・確保に係る実態調査
 - (1) 病院看護管理者
289施設に4/26～5/15の期間で実施、有効回収率 56.4%
 - (2) 未就業看護職
170名に5/12～5/31の期間で実施、有効回収率 18.8%
 - (3) 新人看護職員
622施設・4ステーションに9/15～9/29の期間で実施、有効回収数 949名
 - (4) 訪問看護ステーション管理者
566ステーションに6/16～6/30の期間で実施、有効回収率 33.9%
 - (5) 統括保健師
県1名、市町村54名に6/6～6/20の期間で実施、有効回収率 78.2%

- (6) 現任教育責任者
 県保健所現任教育責任者13名に6/6～6/20の期間で実施、有効回収率 84.6%
- (7) 再就業者
 207名に5/26～6/9の期間で実施、有効回収率 24.2%
- 2) 看護職の無料職業紹介
 - eナースセンター利用者数 10,354名
 - 新規求人数 2,445名
 - 紹介者数 538名
 - 就職者数 389名
- 3) 届出制度
 届出者数 734名 (代行届出数 387名 代行届出率 52.7%)
- 4) 未就業看護職の就業支援
 - (1) 看護基礎技術講習会 60回実施 (参加者 実100名 延148名 就業者57名)
 - (2) 合同就職説明会 8/26、11/11 参加者44名 就業者21名
 - (3) 求人情報誌発行 4回 (6月、9月、12月、3月)
 - (4) 公共職業安定所出張相談会 73回 相談 120名
 - (5) サテライト事業の推進 (再掲)
 - (6) 就業支援
 面接 160名 電話 1,766名 メール 1,969名 オンライン 3名
 - (7) プラチナナース研修会 8/25 参加者48名
 - (8) 相談者就業確認 231名
 - (9) 未就業看護職へのeラーニング研修 学研ナーシングサポート 参加者49名
 ビジュアルナーシングメソッド 参加者44名
- 5) ナースセンター運営委員会 12/21 集合開催 委員13名出席
- 6) ナースセンター事業広報
 「看護ちば」にナースセンターだよりを掲載
 145号 (4月) 146号 (7月) 147号 (10月) 148号 (1月)
- 7) 関係機関との連携
 - (1) 2023年度ナースセンター事業担当者会議 (日本看護協会主催) 6/2
 - (2) 令和5年度ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡会議 8/2 2/1
 - (3) 2023年度都道府県ナースセンター相談員研修 (労働法) 9/13
 - (4) 2023年度キャリアコンサルティング研修
 - 1) 基礎力強化のためのキャリアコンサルティング研修 11/9、29
 - 2) 困難事例対応力協会のためのキャリアコンサルティング研修 12/13、14、20
 - (5) 2023年度地域に必要な看護職確保推進事業報告会 2/29
 - (6) 看護資格の活用基盤強化及び看護補助者の確保・定着に関する説明会 3/6
 - (7) 第7次NCCSの機能に関する説明会 3/15
- 8) 看護職への相談支援 3,898名 (再掲)
- 9) 看護進路相談事業
 - (1) 出前授業 実施校 37校
 (小学校 7校、中学校 23校、高等学校 7校)
 参加者 3,377名
 - (2) ふれあい看護体験 協力施設 82施設 実施施設数(延べ) 120施設
 参加者 996名
 - (3) 進路相談 28件
- 10) 訪問看護再就業支援事業
 訪問看護基礎研修会 参加者51名
 集合開催 (7/21、10/23、12/25) ハイブリット開催 (8/19)

1 地域における看護職の定着・確保の推進

1-4 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保

実施内容

1. 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保事業

- 1) 「看護の日・看護週間」
- 2) 進路相談（再掲）
- 3) 出前授業（再掲）
- 4) ふれあい看護体験（再掲）

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

18歳人口が減少し看護人材が不足することから、2030年には18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要があると試算されている（日本看護協会）。このため、若年層を対象とした看護職の魅力の発信を強化し、看護人材の確保が重要となる。

本協会では、令和3年度より「看護の日・看護週間」を中央行事として位置づけ、地区行事とも連動し、次世代を担う人材の確保につとめている。

県内の学校に通う児童・生徒や保護者、学校の進路相談担当者を対象とした進路相談、また、出前授業やふれあい看護体験により、看護についての知識や理解を深め、看護人材の確保につなげられるよう進めていく。

成果

- 1) 「看護の日・看護週間」
テ ー マ : 看護の心をみんなの心にー看護の力で未来を支えようー
中央行事 : 5/13 参加者 45名
地区部会行事 : 5/6~5/14 9地区 参加者 863名
参加者数 : 908人
- 2) 進路相談（再掲） 28件
- 3) 出前授業（再掲） 実施校 37校
(小学校 7校、中学校 23校、高等学校 7校)
参加者 3,377名
- 4) ふれあい看護体験（再掲） 実施施設数(延べ) 120施設
参加者 996名

1 地域における看護職の定着・確保の推進

1-5 地域包括ケアを実現するための人材確保 (保健師、訪問看護師等)

実施内容

1. 訪問看護総合支援センター設置に向けた検討

- 1) 訪問看護推進協議会部会による協議
- 2) 関係団体との連携

2. 地方自治体への要望

- 1) 保健師増員
- 2) 子育て支援、産後ケアの体制整備

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

本県においては小規模訪問看護ステーションが7割を占める現状から、人材確保、経営支援、訪問看護の質向上が課題となっている。日本看護協会が提案している訪問看護総合支援センターは、訪問看護に関するさまざまな課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点であり、協会においても訪問看護総合支援センター設置に向けた検討を継続する。

また、令和3年の県内保健師数は1,500人、人口10万対33.3（平成30年）で全国平均よりも低い現状にある。地域包括ケアシステムを推進するためには、地域包括の中心的役割を担う保健師の増員が求められる。さらに、子育て世代包括支援センターにおける医療機関・地域等の助産師と市町村の連携強化を図る必要があり、自治体へ要望を継続していく。

成果

1. 訪問看護推進協議会検討部会の開催 1/19
2. 地方自治体への要望
県への要望提出 8/2
会員要望数 102件(36名)

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-1 生涯教育の推進

実施内容

1. 生涯教育の開催

- 1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
- 2) ラダーと連携した継続教育
- 3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
- 4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実にむけた継続教育
- 5) 資格認定教育

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護職がさまざまな場で専門職としての役割を発揮していくためには、自律性が不可欠である。新たな医療ニーズに対応する能力を身につけ、質の高い看護を提供するための研修と人材育成およびキャリア開発を念頭においた継続教育が必要であり、本協会でも生涯教育計画として継続教育を実施している。令和元年度から、日本看護協会の「5つの研修分類」の区分と「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を各研修に表記し、受講の目安となるようにした。

個々の看護職が専門職として自己研鑽でき、さらに所属する組織および地域のニーズにも対応できるような実践的で魅力的な研修を検討し、実施していく必要がある。

新型コロナウイルス感染拡大の影響でWeb配信の研修と取り入れ、その利点を活かし成果をあげられるようになった。今後は、対面研修とWeb配信研修の特徴を考慮し、状況に合わせて研修成果が最大限にできるように、ハイブリッド形式を加える等研修方法を検討し実施していく。

成果

1. 生涯教育の開催

111研修 別紙 生涯教育研修実施状況

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-2 看護研究学会の開催

実施内容

1. 看護研究学会の開催

1) 第41回千葉県看護研究学会の開催

令和5年10月13日（金）

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護研究を行うことは、科学的根拠に基づく看護（EBN）を実践することにつながり、看護の質の向上を目指した活動であり、専門職としての責務でもある。本協会では昭和57年度から研究発表を行う場として看護研究学会を毎年1回開催してきた。しかし、令和元年度以降、演題応募数が減少傾向にある。

臨床現場において質の高い看護を提供するためには、看護研究に取り組み、研究結果として得られた新知見を発表し共有できる看護研究学会の開催意義は大きい。そのため、令和4年度からは、実践報告会と交流会を加え、演題応募数および参加者数の増加を図っている。

さらに、看護研究に必須となった倫理審査を受けやすいように、倫理審査委員会を設置し、看護研究に取り組みやすい環境づくりを強化して行く。

成果

1) 第41回千葉県看護研究学会の開催

研究発表22演題、実践報告13演題 計35演題

交流集会3題

研究支援3施設

参加者191名

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-3 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発

実施内容

1. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発

- 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用
 - (1) 専門・認定看護師等の理解と資格取得の推進
 - (2) 専門・認定看護師・認定看護管理者の登録制の活用推進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成6年に資格認定制度が発足し、診療報酬加算の要件に専門看護師・認定看護師の配置が規定されていることもあり、専門・認定看護師制度の普及は進んでいる。令和4年11月現在の千葉県に登録者数は、専門看護師116名、認定看護師857名となった。令和2年以降の新型コロナウイルス感染症対策においては、感染の分野の専門看護師・認定看護師が専門性を発揮して活動した。専門性の高い看護職の役割の重要性が認知された。

しかし、令和3年12月の調査によると、認定看護師が所属している病院の割合は、200～299床で59.4%、150～199床で44.2%となっており、中小規模病院における認定看護師の資格取得・就業に課題がある。

今後もチーム医療を推進していく中で看護の専門性を発揮するためには、より専門的で質の高い知識や技術を持ったスペシャリストの育成は不可欠であり、組織として資格取得と活動を支援できるよう、活用可能な情報を適宜発信していく必要がある。

また、研修等で指導・支援可能な県内の専門看護師・認定看護師の状況を把握し、人材登録制にする等の取組みについても継続していく。

成果

- 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用
 - (1) 生涯教育研修の担当講師
専門・認定看護師の講師 37研修 67名
 - (2) 講師等人材登録 登録者数 35名

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-4 特定行為研修制度の普及・活用

実施内容

1. 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発

- 1) 特定行為研修制度の普及・活用
特定行為研修制度の理解と資格取得の推進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

チーム医療を推進し、看護師がさらに役割を發揮するために、平成27年10月に「特定行為に係る研修制度」が施行され、令和元年度の認定看護師制度改正により、認定看護師教育課程に特定行為研修が組み込まれ、令和3年度から活動を開始している。

日本看護協会の「看護の将来ビジョン」（平成27年）において、特定行為研修制度を通して、高度な看護を実践する能力を持つ看護職の育成を推進するとしており、少子超高齢社会における地域・国民のニーズに積極的に応えるため、制度の活用の推進が求められている。また、チーム医療および医師の働き方改革を推進する観点からタスク・シフティングを進めるためにも、この制度の普及と活用が重要である。

全国の特定行為研修修了者は4,832人（令和4年3月時点）、研修機関は46都道府県で319機関（令和4年2月時点）であるが、千葉県登録者は131名、研修機関は6機関となっている。質の高い看護の提供体制の構築を目指し、本協会の会員施設および会員に対して特定行為研修制度の理解促進のために、特定行為研修修了者の活動や指定研修機関の研修生受け入れに関する情報提供等を行う。

成果

- 1) 特定行為研修制度の普及・活用（再掲）
看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践 1/29 13名

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-5 中小規模病院看護管理者の育成 (地域内の施設間連携の推進)

実施内容

1. 中小規模病院看護管理者の育成

- 1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会
- 2) 看護管理者研修（生涯教育）

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

2025年を見据え、医療は病院完結型から地域完結型へシフトチェンジし、地域連携の構築および強化が重要となっている。また、医療費抑制傾向にある診療報酬改定が続き、看護管理者の経営参画意識の向上が病院維持に不可欠になってきている。300床未満の中小規模病院が約8割を占める千葉県においては、地域医療を担う中小規模病院の看護管理者の果たす役割は大きい。しかし、中小規模病院の看護管理者は、時間や人員に余裕がなく、希望通りに看護管理者対象の研修等に参加しにくい状況であると推察される。

そこで、中小規模病院の看護管理者が、看護に関連する診療報酬の活用・看護の質向上・看護職員の定着と確保・問題解決技法等について学びやすい研修を企画し、マネジメント力の向上を図られるようにする必要がある。

平成24年から、長期間現場を離れることが難しい看護管理者が参加しやすいように、看護管理の基礎知識を系統的に学べる5日間の研修を開催している。また、平成28年からは、地域特有の課題について情報共有ができ、成長とネットワークづくりの場としても活用できる研修を開催している。

成果

- 1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会
利根地区開催 9/29（金） 参加者6名
君津地区開催 10/31（火） 参加者3名
東葛地区開催 1/19（金） 参加者5名
- 2) 看護管理者研修（再掲）

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-6 医療安全対策の推進

実施内容

1. 医療安全対策の推進

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
 - (1) 相談支援（医療事故報告者、施設等への相談支援等）
 - (2) 情報提供（「世界患者安全の日」の啓発等）
- 2) 医療安全の推進
 - (1) 医療安全大会の開催
 - (2) 医療安全推進の普及啓発
- 3) 医療安全管理者の育成
 - (1) 医療安全管理者養成研修会
 - (2) 医療安全担当者中央交流会
 - (3) 医療安全担当者地区交流会
- 4) 関係機関等との連携促進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成11年の患者取違い事故以降、国は医療機関における医療安全管理体制の整備を進めてきた。また、日本看護協会では、職能団体として看護職の安全なケア環境をつくるため様々な取り組みを行っている。本会においても、看護職が安全に安心して働き続けられる環境づくりを目指し、医療安全対策を推進してきた。

平成17年より「医療安全推進週間」に合わせて、多職種参加の医療安全大会の開催や医療安全に関する標語を募集しポスターにして配布する等、県内の医療従事者の、医療安全への意識の向上と普及啓発を図ってきた。令和4年からは、医療安全に関するチーム活動を募集し、多職種協働の推進も強化している。

今後は、医療安全大会を、より有意義なものにしていくために、行政および医師会等と共同主催する等、大会の在り方を含めた見直しが必要である。

さらに、平成31年の世界保健機関の総会において、患者安全を促進することへの人々の意識・関心を高め、国際的な理解を深めるため、9月17日が「世界患者安全の日」と制定された。「医療安全推進週間」と共に、医療安全文化の醸成に向けた取り組みを継続していく。

成果

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
 - (2) 情報提供（「世界患者安全の日」の啓発等）
 - ・看護ちば・ホームページへの掲載
 - ・看護会館・ナースセンターへのポスター掲示
- 2) 医療安全の推進
 - (1) 医療安全大会 11/19
テーマ 心理的安全性を実現する組織作り
参加者数 274名
 - (2) 医療安全推進の普及啓発
 - ・医療安全に関する標語 応募総数 1,422作品
 - ・医療安全に関するチーム活動 応募総数 5施設

- 3) 医療安全管理者の育成
 - (2) 医療安全担当者中央交流会 7/29 参加者 91名
 - (3) 医療安全担当者地区交流会
 - 船橋地区 9/7 参加者 35名
 - 山武地区 9/16 参加者 42名
 - 市川地区 10/7 参加者 10名
 - 印旛地区 10/28 参加者 24名
- 4) 関係機関等との連携促進

3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進

3-1 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進

実施内容

1. 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進

- 1) 地域包括ケア推進における看護活動の研修の開催
- 2) 医療的ケア児を支援する地域包括ケア研修の開催

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

少子超高齢多死社会においては、医療は病院完結型から地域完結型へと移行し、住み慣れた地域社会で暮らす医療依存度の高い在宅療養者（児）や障がい者（児）が増加し、全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築が求められている。地域において疾病・障害・健康等の状態にかかわらず全世代を対象に生活全般を支援をする看護職がその機能を発揮し、関係機関・多職種との連携を推進する必要がある。

成果

- 1) 地域包括ケア推進における看護活動の研修の開催（再掲）
- 2) 医療的ケア児を支援する地域包括ケア研修の開催（再掲）
 - 医療的ケア児等在宅移行支援研修（基礎編）
 - 医療的ケア児等在宅移行支援研修（応用編）

3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進

3-2 地域連携強化と多職種連携会議への参画

実施内容

1. 地域連携強化と多職種連携会議への参画

- 1) 地域包括関連会議(地域医療構想調整会議、地域ケア会議等)への参画
- 2) 多職種連携会議への参画

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進において、看護職がその機能を発揮するためには、自治体で策定される医療計画・地域医療構想、介護保険事業計画等の策定会議への参画、関係機関・団体との連携体制の構築、看一看護連携や多職種とのネットワークづくり(地域連携)が必要である。会議等において、看護の視点で地域の課題を検討し、実情に応じた課題解決ができるように働きかける。

成果

- 1) 地域包括関連会議(地域医療構想調整会議、地域ケア会議等)への参画
千葉県・市町村等関係会議 154回 関係団体等会議 95回
- 2) 多職種連携会議への参画 91回

3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進

3-3 訪問看護・看多機の推進

実施内容

1. 訪問看護師確保・育成

- 1) 訪問看護推進協議会の開催
- 2) 訪問看護師育成のための研修等
- 3) 新卒者等訪問看護師育成プログラムの活用拡大
- 4) 地域連携フォーラムの開催

2. 訪問看護総合支援センター設置に向けた検討(再掲)

3. 看多機に関する現状把握

- 1) 訪問看護推進協議会、関連機関等における情報収集

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

地域においては、疾病・障害・健康等の状態にかかわらず全世代を対象に生活全般を支援する看護職がその機能を発揮し、関係機関・多職種との連携を推進する必要がある。

地域包括ケアの担い手となる訪問看護師数について、本県は全国において下位であることや小規模訪問看護ステーションが県内5割を占めていることから、訪問看護師の確保・育成を図る必要がある。その際には、新卒者等採用に向けた育成のため新卒者等訪問看護師育成プログラムの活用拡大を図る。さらに、医療依存度の高い人、退院直後で状態が不安定な人、在宅での看取り支援など、住み慣れた自宅での療養を支える看多機（看護小規模多機能型居宅介護）の推進を図ることを検討する。

また、訪問看護提供体制の推進には、多職種・多機関の連携が重要であり、県内全体のさらなる推進を図ることが必要である。

成果

1. 訪問看護師確保・育成

- 1) 訪問看護推進協議会の開催 8/1、3/14 ハイブリッド
- 2) 訪問看護師育成のための研修等
 - ・訪問看護指導者育成研修会 9/23、10/21 集合 参加者34名
 - ・学生向け訪問看護ガイダンス 教員対象 3回 学生対象 13回
 - ・新人育成交流会 8/19 集合 参加者 新人 12名、管理者等 16名
 - ・訪問看護師養成講習会 eラーニング、講義（6/1Web、11/21Web、2/28集合）、実習5日間、参加者 7名
- 3) 新卒者等訪問看護師育成プログラムの活用拡大
支援中1名（新卒1年目）、修了1名（転職）、終了2名（新卒1年目1名、転職1名）
- 4) 地域連携フォーラムの開催 11/25 Web 参加者28名

3. 看多機に関する現状把握

- 1) 訪問看護推進協議会、関連機関等における情報収集
県内看多機事業所のリスト管理を開始
千葉県看多機連絡協議会会長及び副会長と情報交換 9/20

4 地域における健康危機管理体制の強化

4-1 新興感染症等パンデミックへの対応体制の強化

実施内容

1. 新興感染症等パンデミックへの対応体制の整備

- 1) 協定締結等による役割の明確化と連携強化
- 2) 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有
- 3) 支援体制の整備
- 4) 感染症対策を担う看護職の育成

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

この度の新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症による感染拡大は、世界的な問題であり、医療・看護の現場においては患者の受け入れや自施設で感染者の発生など、収束の予測がつかない中で長期的に広範囲に及ぶ対策に看護職の専門性を発揮し続けなければならない。感染症対策を安全・安心に継続するためには、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、協定締結と県対策本部への看護職の参加が必須となる。

また、必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である会員施設・会員からの情報・ニーズの把握により県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

さらには、感染症対策を担う看護職を育成し、現場の安全と安心を守る支援も重要となる。

成果

- 1) 協定締結等による役割の明確化と連携強化（調整中）
- 2) 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有（感染症流行時）
- 3) 支援体制の整備
感染症対策出向支援 4回
- 4) 感染症対策を担う看護職の育成（再掲）
災害支援ナース養成研修 11/6 12/26 54名
12/6 1/10 103名

4 地域における健康危機管理体制の整備

4-2 大規模災害発生時の対応体制の強化

実施内容

1. 大規模災害発生時の対応体制の整備

- 1) 協定締結等による役割の明確化と連携強化
- 2) 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有
- 3) 災害支援ネットワークの強化
- 4) 災害に備えた支援体制の整備
- 5) 災害支援ナースの育成

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

近年の災害は広範囲に甚大な被害が頻発しており、平時から有事に向けた準備が必要とされる。現在、災害発生時の対応は県との間で平成13年8月に締結された「災害時の医療救護活動に関する協定書」により実施しているが、その活動は医療救護活動に協力するとされており、看護職が広範囲に活躍している実情にそぐわない現状がある。求められる支援に迅速に対応するためには、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、現行の協定の見直しと県対策本部への看護職の参加が必須となる。

また、必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である地区部会や会員施設・会員からの情報・ニーズの把握など、県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

成果

- 1) 協定締結等による役割の明確化と連携強化（調整中）
- 2) 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有（県内被災時）
- 3) 災害支援ネットワークの強化
 - (1) 今年度新たに、「災害時情報連絡用紙（地区部会用）」を作成し、7/25地区部会長会において説明及び配布した。
災害時情報連絡用紙のホームページへの掲載
 - (2) 看護ちば147号に「災害支援ナースの新しい仕組み」について掲載
新しい仕組みについてのリーフレットの送付（現登録者所属施設88、個人23）
 - (3) 利根地区部会研修会開催「地域における災害時の連携について」参加者22名
（協会事務局共同開催）
- 4) 災害に備えた支援体制の整備
次年度に向けた準備
- 5) 災害支援ナースの育成
九都県市合同防災訓練（我孫子市）への参加 9/2 災害支援ナース6名
災害支援ナース養成研修（再掲）

4 地域における健康危機管理体制の整備

4-3 協会における事業継続計画（BCP）の策定

実施内容

1. 協会における事業継続計画（BCP）の策定

1) 事業継続計画（BCP）の検討

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

近年、広範囲に甚大な自然災害による被害が頻発しており、平時から有事に向けた準備が必要とされる。さらに、長期にわたる感染症の拡大による健康危機に対し、看護職が求められる支援に迅速に対応し、公益法人としての使命を果たすためには、事業継続計画（BCP）を作成し、県民の健康な生活の実現に寄与するという社会的な責任を果たす必要がある。

成果

1) 事業継続計画（BCP）の検討

- ・在宅医療提供機関におけるBCP（事業継続計画）策定支援研修の受講
12/9 1/20 2/17

5 組織基盤の強化

5-1 会員の定着・確保・拡大

実施内容

1. 会員増の推進

- 1) 新規・再入会の促進
- 2) 継続会員への勧奨
- 3) 情報発信の強化、広報の充実
- 4) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内
- 5) 新たな会員獲得のための方策検討

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

2025年、2040年を展望する課題への的確な対応を進めていくため、協会活動の基盤となる組織力の強化が不可欠である。（入会率50%以上）

職能団体の基盤となる会員の定着・確保・拡大に向け、できるだけ多くの看護職の結集を図ることが重要である。

当協会では、2020年より健康の保持増進、疾病予防、病気や障がいがあっても自分らしい生活が送れるよう「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現を目指している。実現のためには、看護政策を提案し、実行できる組織として、組織基盤の強化を図り、成長していく必要がある。

成果

- 1) 新規・再入会の促進
会員数 28,214名（うち新規入会 2,079名） 入会率 45.5%
- 2) 継続会員への勧奨
入会後のご案内『入会されたあなたへ～information～』等の送付 2,079名
- 3) 情報発信の強化、広報の充実
- 4) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内
 - (1) 学生表彰 34校 35名
 - (2) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 42校 2,727名
 - (3) 協会の機能と役割に係る特別講話 16校（大学4校 専門学校12校）
- 5) 新たな会員獲得のための方策検討
 - (1) 会員福利厚生の充実
学研ビジュアルナーシングメソッドの提供（新規入会者向け）
利用者数 29名

5 組織基盤の強化

5-2 看護政策推進力の強化

実施内容

1. 看護政策推進力の強化

- 1) 地区部会の活動・体制の強化
- 2) 職能間の連携強化
- 3) 看護協会の認知度の向上

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

組織基盤は、重点政策の着実かつ円滑な実施の土台となるものであり、その充実と強化に取り組む必要がある。

本協会は、保健師・助産師・看護師・准看護師のすべての職能が加入できる唯一の職能団体である。それぞれの職能の専門性を生かすとともに職能間の円滑な連携・調整のもと、社会の状況、医療・介護の現場の課題、国の政策・施策の動向を踏まえ事業を推進してきた。引き続き着実に政策推進の強化に取り組む必要がある。

成果

- 1) 地区部会の活動・体制の強化
地区部会活動
役員会66回（千葉4、市原7、船橋6、市川4、松戸6、東葛4、印旛5、利根8、山武7、長夷4、君津5、安房6）
連絡会23回（千葉2、市原2、船橋2、市川2、松戸2、東葛2、印旛2、利根2、山武2、長夷2、君津2、安房1）
研修会20回（千葉2、市原1、船橋2、市川1、松戸2、東葛1、印旛2、利根2、山武2、長夷2、君津2、安房1）
まちの保健室21回（千葉2、市原1、船橋3、市川1、東葛4、利根2、山武2、長夷3、君津2、安房1）
地区活動の活性化等に係るモデル事業 2地区（利根 山武）
会計担当者会議 6/2
地区部会長会 7/25 1/16
他職種連携会議への参画 91回
- 2) 職能間の連携強化
4職能委員長会 10/11 4職能委員会合同会議 11/10 1/15
- 3) 看護協会の認知度の向上
県民向け広報誌の発行準備（令和6年4月発行予定）

令和5年度 事業報告

【重点事業】

- 1 地域における看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の強化
- 5 組織基盤の強化

●事業計画は、定款第4条の7つの事業に沿って掲載

- I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業
- II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業
- III 訪問看護の推進に関する事業
- IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業
- V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業
- VI 指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業
- VII その他この法人が目的を達成するために必要な事業

I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

重点事業:強調、新規事業:太ゴシック

【目的】県民に安全で安心な看護サービスを提供するため、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育の機会を提供し看護職の資質の向上を図る。

事業計画	実績																																													
<p>1. 生涯教育 重点事業 2-1 111 研修</p> <p>【目標】看護専門職として社会のニーズや医療の進歩に対応できる知識・技術を高め、より質の高い看護実践能力を習得できるように支援する。</p>	<p>1. 生涯教育 (111 研修中 5 研修中止 + 追加 5 研修 合計 111 研修実施)</p> <p>令和5年度生涯教育研修 実施状況 (4~3月) 別表1参照</p> <p>表1 研修実施状況 (令和元年度~令和5年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>定員(名)</th> <th>受講者数(名)</th> <th>受講率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>8,016</td> <td>6,600</td> <td>82.3</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,526</td> <td>1,204</td> <td>47.7</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10,625</td> <td>3,633</td> <td>34.2</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>10,435</td> <td>4,564</td> <td>43.7</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>8,855</td> <td>4,966</td> <td>56.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>表2 研修方法の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修方法</th> <th>ライブ</th> <th>ライブ / 対面</th> <th>オンデマンド / 対面</th> <th>オンデマンド / ライブ</th> <th>対面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4 113 研修</td> <td>93</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>R5 111 研修</td> <td>70</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>		定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)	令和元年度	8,016	6,600	82.3	令和2年度	2,526	1,204	47.7	令和3年度	10,625	3,633	34.2	令和4年度	10,435	4,564	43.7	令和5年度	8,855	4,966	56.1	研修方法	ライブ	ライブ / 対面	オンデマンド / 対面	オンデマンド / ライブ	対面	R4 113 研修	93	5	1	1	13	R5 111 研修	70	5	6	1	29			
	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)																																											
令和元年度	8,016	6,600	82.3																																											
令和2年度	2,526	1,204	47.7																																											
令和3年度	10,625	3,633	34.2																																											
令和4年度	10,435	4,564	43.7																																											
令和5年度	8,855	4,966	56.1																																											
研修方法	ライブ	ライブ / 対面	オンデマンド / 対面	オンデマンド / ライブ	対面																																									
R4 113 研修	93	5	1	1	13																																									
R5 111 研修	70	5	6	1	29																																									
<p>分類1:「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 17 研修</p> <p>・新興感染症・再興感染症について学ぶ</p> <p>・看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践</p> <p>・ヘルシーワークプレイス (健康で安全な職場) ~私にできること~</p> <p>・高齢者を支える看護と高齢者虐待予防</p> <p>・医療安全管理者養成研修【医療安全対策加算対応】 【JNA インターネット配信研修 [オンデマンド]】</p>	<p>分類1:「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 (17 研修中 17 研修終了 追加3 研修中 3 研修終了)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>定員(名)</th> <th>応募数(名)</th> <th>受講数(名)</th> <th>受講率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新興感染症・再興感染症について学ぶ</td> <td>100</td> <td>57</td> <td>51</td> <td>51.0</td> </tr> <tr> <td>高齢者を支える看護と高齢者虐待予防</td> <td>100</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td>看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践</td> <td>100</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>ヘルシーワークプレイス (健康で安全な職場) ~私にできること~</td> <td>100</td> <td>29</td> <td>26</td> <td>26.0</td> </tr> <tr> <td>外来における在宅療養支援能力向上のための研修</td> <td>70</td> <td>41</td> <td>39</td> <td>55.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>「新興感染症・再興感染症について学ぶ」アンケート n=43 名 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンケート項目</th> <th>大いに</th> <th>ある程度</th> <th>あまり</th> <th>全く</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活用できる</td> <td>26 (60.5)</td> <td>16 (37.2)</td> <td>1 (2.3)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>期待に沿っている</td> <td>20 (46.5)</td> <td>22 (51.2)</td> <td>1 (2.3)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	研修名	定員(名)	応募数(名)	受講数(名)	受講率(%)	新興感染症・再興感染症について学ぶ	100	57	51	51.0	高齢者を支える看護と高齢者虐待予防	100	19	19	19.0	看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践	100	13	13	13.0	ヘルシーワークプレイス (健康で安全な職場) ~私にできること~	100	29	26	26.0	外来における在宅療養支援能力向上のための研修	70	41	39	55.7	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く	活用できる	26 (60.5)	16 (37.2)	1 (2.3)	0	期待に沿っている	20 (46.5)	22 (51.2)	1 (2.3)	0
研修名	定員(名)	応募数(名)	受講数(名)	受講率(%)																																										
新興感染症・再興感染症について学ぶ	100	57	51	51.0																																										
高齢者を支える看護と高齢者虐待予防	100	19	19	19.0																																										
看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践	100	13	13	13.0																																										
ヘルシーワークプレイス (健康で安全な職場) ~私にできること~	100	29	26	26.0																																										
外来における在宅療養支援能力向上のための研修	70	41	39	55.7																																										
アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く																																										
活用できる	26 (60.5)	16 (37.2)	1 (2.3)	0																																										
期待に沿っている	20 (46.5)	22 (51.2)	1 (2.3)	0																																										

事業計画	実績				
分類2：ラダーと連動した継続教育 76 研修 (1) ニーズをとらえる力 (5 研修) (2) ケアする力 (12 研修) ・糖尿病合併症の重症化予防と看護 (3) 協働する力 (10 研修) ・よりよい人間関係を築くためのアサーション ・アンガーマネジメントのコツを知ってストレス対策 ・成長を支えるためのレジリエンス (回復力) とセルフ・コンパッション (自分を思いやる力)	「高齢者を支える看護と高齢者虐待を考える」アンケート n=17 名 (%)				
	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
	活用できる	10 (58.8)	7 (41.2)	0	0
	期待に沿っている	10 (58.8)	7 (41.2)	0	0
	「看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践」アンケート n=9 名 (%)				
	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
	活用できる	7 (77.8)	1 (11.1)	1 (11.1)	0
	期待に沿っている	5 (55.6)	4 (44.4)	0	0
	「ヘルシーワークプレイス (健康で安全な職場) ～私にできること～」アンケート n=24 名 (%)				
	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
	活用できる	11 (45.8)	13 (54.2)	0	0
	期待に沿っている	13 (54.2)	11 (45.8)	0	0
	アンケート 私にできることの記述 ・職場全体のコミュニケーションスキルを上げること。目的のある会話の必要性。スタッフ全員がそれぞれの意見を尊重できるようにする。 ・風通しの良い職場を目指す。 ・今日学んだことをスタッフと共有し、現状を認識し課題の設定を統一したい。 ・挨拶を大切にすること、相手をよく観察し目的をもって会話をする。				
	「外来における在宅療養支援能力向上のための研修 JNA eラーニング活用」				
	アンケート n=32 名 (%)				
アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く	
活用できる	20 (62.5)	12 (37.5)	0	0	
期待に沿っている	12 (37.5)	15 (46.9)	5 (15.6)	0	
期待に沿っていない理由：講義内容が思ったものと違った 4 名					
分類2：ラダーと連動した継続教育 (76 研修中 71 研修終了・5 研修中止 追加2 研修中 2 研修終了) (1) ニーズをとらえる力 (5 研修中 5 研修終了) (2) ケアする力 (12 研修中 8 研修終了・4 研修中止 追加2 研修終了)					
研修名		定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
災害支援ナース養成研修 1 回目		100	60	55	55.0
災害支援ナース養成研修 2 回目		100	118	105	105.0
「災害支援ナース養成研修 1 回目」アンケート n=46 名 (%)					
アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く	
活用できる	21 (45.7)	22 (47.8)	1 (2.2)	0	
期待に沿っている	14 (30.4)	30 (65.2)	1 (2.2)	0	
「災害支援ナース養成研修 2 回目」アンケート n=84 名 (%)					
アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く	
活用できる	59 (70.2)	21 (25.0)	2 (2.4)	0	
期待に沿っている	44 (52.4)	34 (40.5)	3 (3.6)	1 (1.2)	
(3) 協働する力 (10 研修中 10 研修終了)					
研修名		定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
よりよい人間関係を築くためのアサーション		100	91	83	83.0
アンガーマネジメントのコツを知ってストレス対策		100	58	55	55.0
成長を支えるためのレジリエンス (回復力) とセルフ・コンパッション (自分を思いやる力)		100	50	48	48.0

事業計画	実績															
<p>(4) 意思決定する力 (3 研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を学ぼう <p>(5) 看護共通 (46 研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年目看護師として自己の成長をみつめて ・看護研究 指導編～研究の指導をするためのスキル～ ・レポートや小論文の記述力を高めるために <p>分類 3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 9 研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者の活用促進のための看護管理者研修 JNA e-ラーニング活用【診療報酬対応】 ・メンタルヘルス不調のラインによるケア～看護管理者の役割～ <p>分類 4：専門能力開発を支援する教育体制の充実にむけた継続教育 3 研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を育てる臨地実習 <p>分類 5：資格認定教育 6 研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師養成講習会 ・喀痰吸引指導者養成講習会 ・令和 5 年度千葉県看護教員養成講習会 ・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 2 回 ・認定看護管理者教育課程 セカンドレベル <p>2. 千葉県看護研究学会 重点事業 2-2</p> <p>1) 第 41 回千葉県看護研究学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和 5 年 10 月 13 日 (金) ・場 所 東京ベイ幕張ホール 	<p>「よりよい人間関係を築くためのアサーション」アンケート n=68 名 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンケート項目</th> <th>大いに</th> <th>ある程度</th> <th>あまり</th> <th>全く</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活用できる</td> <td>47 (69.1)</td> <td>21 (30.9)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>期待に沿っている</td> <td>47 (69.1)</td> <td>21 (30.9)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く	活用できる	47 (69.1)	21 (30.9)	0	0	期待に沿っている	47 (69.1)	21 (30.9)	0	0
	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く											
	活用できる	47 (69.1)	21 (30.9)	0	0											
	期待に沿っている	47 (69.1)	21 (30.9)	0	0											
	<p>「成長を支えるためのレジリエンス (回復力) とセルフ・コンパッション (自分を思いやる力)」アンケート n=37 名 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンケート項目</th> <th>大いに</th> <th>ある程度</th> <th>あまり</th> <th>全く</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活用できる</td> <td>26 (70.3)</td> <td>11 (29.7)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>期待に沿っている</td> <td>25 (67.6)</td> <td>12 (32.4)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く	活用できる	26 (70.3)	11 (29.7)	0	0	期待に沿っている	25 (67.6)	12 (32.4)	0	0
	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く											
	活用できる	26 (70.3)	11 (29.7)	0	0											
	期待に沿っている	25 (67.6)	12 (32.4)	0	0											
	<p>(4) 意思決定を支える力 (3 研修中 3 研修終了)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>定員 (名)</th> <th>応募数 (名)</th> <th>受講数 (名)</th> <th>受講率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を学ぼう</td> <td>100</td> <td>103</td> <td>96</td> <td>96.0</td> </tr> </tbody> </table>	研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)	アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を学ぼう	100	103	96	96.0					
	研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)											
	アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を学ぼう	100	103	96	96.0											
	<p>「アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を学ぼう」アンケート n=76 名 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンケート項目</th> <th>大いに</th> <th>ある程度</th> <th>あまり</th> <th>全く</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活用できる</td> <td>46 (60.5)</td> <td>29 (38.2)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>期待に沿っている</td> <td>32 (42.1)</td> <td>43 (56.6)</td> <td>1 (1.3)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く	活用できる	46 (60.5)	29 (38.2)	0	0	期待に沿っている	32 (42.1)	43 (56.6)	1 (1.3)	0
	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く											
	活用できる	46 (60.5)	29 (38.2)	0	0											
	期待に沿っている	32 (42.1)	43 (56.6)	1 (1.3)	0											
<p>(5) 看護共通 (46 研修中 45 研修終了・1 研修中止)</p>																
<p>分類 3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 (9 研修中 9 研修終了)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>定員 (名)</th> <th>応募数 (名)</th> <th>受講数 (名)</th> <th>受講率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンタルヘルス不調のラインによるケア～看護管理者の役割～</td> <td>100</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>24.0</td> </tr> </tbody> </table>	研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)	メンタルヘルス不調のラインによるケア～看護管理者の役割～	100	29	24	24.0						
研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)												
メンタルヘルス不調のラインによるケア～看護管理者の役割～	100	29	24	24.0												
<p>「メンタルヘルス不調のラインによるケア～看護管理者の役割～」アンケート n=19 名 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンケート項目</th> <th>大いに</th> <th>ある程度</th> <th>あまり</th> <th>全く</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活用できる</td> <td>15 (78.9)</td> <td>4 (21.1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>期待に沿っている</td> <td>11 (57.9)</td> <td>7 (36.8)</td> <td>1 (5.3)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く	活用できる	15 (78.9)	4 (21.1)	0	0	期待に沿っている	11 (57.9)	7 (36.8)	1 (5.3)	0	
アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く												
活用できる	15 (78.9)	4 (21.1)	0	0												
期待に沿っている	11 (57.9)	7 (36.8)	1 (5.3)	0												
<p>分類 4：専門能力開発を支援する教育体制の充実にむけた継続教育 (3 研修中 3 研修終了)</p>																
<p>別表参照</p>																
<p>分類 5：資格認定教育 (6 研修中 6 研修終了)</p>																
<p>別表参照</p>																
<p>2. 千葉県看護研究学会</p> <p>1) 第 41 回千葉県看護研究学会</p> <p>令和 5 年 10 月 13 日 (金) TKP 東京ベイ幕張ホール</p> <p>特別講演 「未来へつなぐ看護の力～看護にしなやかな発想と創造を～」</p> <p>講師 千葉大学大学院看護学研究院 特任教授 島田陽子 氏</p> <p>演題数 35 題 (研究発表 22 題 実践報告 13 題) 20 施設から申込</p> <p>交流集会 3 題</p>																

事業計画	実績														
<p>3. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進</p> <p style="text-align: right;">重点事業 2-3</p> <p>1) 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活用</p> <p>(1) 講師等人材登録事業の運用</p> <p>(2) 生涯教育研修における担当講師</p> <p>4. 特定行為研修制度の普及</p> <p style="text-align: right;">重点事業 2-4</p> <p>1) 特定行為研修制度に関する研修</p> <p style="text-align: center;">・看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践（再掲）</p> <p>5. 中小規模病院看護管理者の育成</p> <p style="text-align: right;">重点事業 2-5</p> <p>【目的】臨床現場を離れて研修を受けにくい状況にある中小規模病院の看護管理者が、院内で期待される本来の役割を果たすため、看護管理能力の向上を目指し、知識等を習得し、地域に共通する課題の解決に向けた方向性を見出す。</p> <p>1) 中小規模病院看護管理者の研修・情報交換会</p>	<p>研修支援 3施設 参加者数 191名</p> <p>アンケート</p> <p>学会の内容は期待に沿うものだったか n=95 名 (%)</p> <table border="1" data-bbox="949 368 1820 507"> <tr> <td>大変期待に沿っていた</td> <td>期待に沿っていた</td> <td>あまり期待に沿っていない</td> </tr> <tr> <td>23 (24.2)</td> <td>69 (72.6)</td> <td>3 (3.2)</td> </tr> </table> <p>交流集会に関するアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由に発言できるため意見交換がしやすかったです。 思っていた以上に面白く、実際に他の看護師と交流が持て、今後の仕事にも自己研鑽にも繋がりました。 自施設の自分自身も関わっていた内容だったので、他施設の方の意見が聞けて参考になりました。 <p>研究支援コーナーを次年度も設けた場合に参加するか n=95 名 (%)</p> <table border="1" data-bbox="949 911 1913 1050"> <tr> <td>是非参加したい</td> <td>機会があったら参加したい</td> <td>参加しない</td> <td>分からない</td> </tr> <tr> <td>7 (7.4)</td> <td>52 (54.7)</td> <td>6 (6.3)</td> <td>30 (31.6)</td> </tr> </table> <p>3. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進</p> <p style="text-align: right;">重点事業 2-3</p> <p>1) 専門・認定看護師制度の普及・活用</p> <p>(1) 講師等人材登録 登録者数 35名</p> <p>(2) 生涯教育研修の担当講師</p> <p style="text-align: center;">専門・認定看護師の講師 37名 研修 67名</p> <p>4. 特定行為研修制度の普及</p> <p>1) 特定行為研修制度に関する研修</p> <p style="text-align: center;">・看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践（再掲）</p> <p>5. 中小規模病院看護管理者の育成</p> <p>1) 中小規模病院看護管理者の研修・情報交換会</p> <p>対 象 県内中小規模病院（300床未満）看護部門のトップマネージャー（看護職）</p> <p>内 容 講義「次世代を担う看護管理者の人材育成」 グループワーク「次世代の育成、地域での課題等」</p> <p>参加者 利根地区 9/29 6名 君津地区 10/31 3名 東葛地区 1/19 5名</p> <p>アンケート</p> <p>3地区すべて、講義が参考になった及び情報交換会が有意義だった 100%</p> <p>感想</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣の看護管理者の方々と関係が深まった。これから繋がっていけると思う。 日々苦しかったが、色々なお話が聴けて勇気をもらえた。 看護部長は孤独と感じていたが、同じように悩んでいることが分かり、力になった。今後は相談できると思った。 <p>不参加施設にアンケート実施（利根地区、君津地区）</p> <p>不参加施設へのアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代の育成等の課題を認識しているが、日程の都合がつかず不参加 地域での病院の連携は重要と認識している 希望研修内容は、ハラスメント・リスクマネジメント等 	大変期待に沿っていた	期待に沿っていた	あまり期待に沿っていない	23 (24.2)	69 (72.6)	3 (3.2)	是非参加したい	機会があったら参加したい	参加しない	分からない	7 (7.4)	52 (54.7)	6 (6.3)	30 (31.6)
大変期待に沿っていた	期待に沿っていた	あまり期待に沿っていない													
23 (24.2)	69 (72.6)	3 (3.2)													
是非参加したい	機会があったら参加したい	参加しない	分からない												
7 (7.4)	52 (54.7)	6 (6.3)	30 (31.6)												

事業計画	実績																																															
<p>6. 委員会の開催</p> <p>1) 教育委員会 6回</p> <p>2) 看護研究委員会 6回 看護研究倫理審査委員会 随時</p> <p>3) 認定看護管理者教育課程運営委員会 4回</p> <p>4) 千葉県看護教員養成講習会運営委員会 1回</p>	<p>6. 委員会の開催</p> <p>1) 教育委員会 5/30 7/31 9/21 11/14 1/25 3/11</p> <p>2) 看護研究委員会 5/26 7/14 9/22 11/17 12/8 2/9 看護研究倫理審査委員会</p> <p>3) 認定看護管理者教育課程運営委員会 4/24 8/28 1/22 3/6</p> <p>4) 千葉県看護教員養成講習会運営委員会 1/18</p>																																															
<p>7. 医療安全対策の推進 重点事業 2-6</p> <p>【目的】医療関係者の医療安全対策に関する意識の向上と普及啓発を図り、医療安全管理者の育成とスキルアップの支援、関係機関との連携による医療安全対策ネットワークを構築する。また、県内の医療機関へ医療安全の周知を行うと共に医療事故調査制度の開始に伴った情報を提供していくことで、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。</p> <p>1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供</p> <p>(1) 医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介</p> <p>(2) 「世界患者安全の日」の啓発</p> <p>2) 医療安全の推進</p> <p>(1) 医療安全大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和5年11月19日(日) ・場 所 幕張メッセ国際会議場 <p>(2) 医療安全推進の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する標語の募集 ・医療安全に関するチーム活動の募集 ・ポスター等による普及啓発 	<p>7. 医療安全対策の推進</p> <p>1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供</p> <p>(1) 医療事故調査委員会委員派遣 1件</p> <p>(2) 情報提供「世界患者安全の日」の啓発 看護ちば・ホームページへの掲載 看護会館・ナースセンターへのポスターの館内掲示</p> <p>2) 医療安全の推進</p> <p>医療安全推進週間 11/19～11/25</p> <p>(1) 医療安全大会の開催</p> <p>開催日 11/19</p> <p>場 所 幕張メッセ国際会議場 国際会議室</p> <p>参加者 274名(看護職 200名 72.9%、看護学生 35名 12.8%、他職種 35名 12.8%) (前年度 35名) その他 4名 1.5%</p> <p>テーマ 心理的安全性を実現する組織作り</p> <p>内 容 特別講演 「学習する組織を育てる」 講師 大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 病院教授/部長 山口(中上)悦子 氏</p> <p>シンポジウム 「心理的安全性を実現するために、私ができること、したいこと」</p> <p>アンケート n=157 回収率 57.3%</p> <table border="1" data-bbox="949 1760 1818 1994"> <thead> <tr> <th>特別講演は参考になりましたか?</th> <th>回答数(名)</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変参考になった</td> <td>120</td> <td>76.4</td> </tr> <tr> <td>参考になった</td> <td>36</td> <td>22.9</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>1</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>157</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="949 2041 1818 2320"> <thead> <tr> <th>シンポジウムは参考になりましたか?</th> <th>回答数(名)</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変参考になった</td> <td>77</td> <td>49.0</td> </tr> <tr> <td>参考になった</td> <td>69</td> <td>43.9</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>3</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>シンポジウムを聞いていない</td> <td>8</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>157</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療安全推進の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する標語 <table border="1" data-bbox="949 2457 1642 2686"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募者数(名)</td> <td>1,422</td> <td>712</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>看護職(名)</td> <td>483</td> </tr> <tr> <td>他職種(名)</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>応募施設数(施設)</td> <td>78</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>最優秀賞 「フルネーム 患者と共に 声に出し」 優秀賞 「事前の気付きに ありがとう」</p>	特別講演は参考になりましたか?	回答数(名)	割合(%)	大変参考になった	120	76.4	参考になった	36	22.9	あまり参考にならなかった	1	0.6		157	100.0	シンポジウムは参考になりましたか?	回答数(名)	割合(%)	大変参考になった	77	49.0	参考になった	69	43.9	あまり参考にならなかった	3	1.9	シンポジウムを聞いていない	8	5.1		157	100.0		令和5年度	令和4年度	応募者数(名)	1,422	712	内訳	看護職(名)	483	他職種(名)	229	応募施設数(施設)	78	48
特別講演は参考になりましたか?	回答数(名)	割合(%)																																														
大変参考になった	120	76.4																																														
参考になった	36	22.9																																														
あまり参考にならなかった	1	0.6																																														
	157	100.0																																														
シンポジウムは参考になりましたか?	回答数(名)	割合(%)																																														
大変参考になった	77	49.0																																														
参考になった	69	43.9																																														
あまり参考にならなかった	3	1.9																																														
シンポジウムを聞いていない	8	5.1																																														
	157	100.0																																														
	令和5年度	令和4年度																																														
応募者数(名)	1,422	712																																														
内訳	看護職(名)	483																																														
	他職種(名)	229																																														
応募施設数(施設)	78	48																																														

事業計画	実績																																																													
<p>3) 医療安全管理者の育成</p> <p>(1) 医療安全管理者養成研修会(再掲)</p> <p>(2) 医療安全担当者中央交流会 (1回)</p> <p>(3) 医療安全担当者地区交流会</p> <p>4) 関係機関等との連携促進</p> <p>5) 医療安全委員会の開催 6回</p> <p>8. 図書室の運営管理</p> <p>1) 図書室の管理運営</p> <p>2) 資料・文献検索・レファレンス・メールによる文献複写等の相談 等</p>	<p>・ポスター等による普及啓発 発送 県内 289 病院、保健センター等 50 公的機関 その他会員施設 327 施設、他団体・企業等 25 施設</p> <p>・医療安全に関するチーム活動 応募数 5 活動(病院 5 施設) 最優秀賞「患者確認の定着に向けた取り組み」 医療安全大会での発表、協会ホームページでの公表</p> <p>アンケート (医療安全大会) n=157 回収率 57.3%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>最優秀賞チーム活動の紹介は参考になりましたか?</th> <th>回答数(名)</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変参考になった</td> <td>79</td> <td>50.3</td> </tr> <tr> <td>参考になった</td> <td>58</td> <td>36.9</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>3</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>紹介を聞いていない</td> <td>17</td> <td>10.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>157</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 医療安全管理者の育成</p> <p>(1) 医療安全管理者養成研修会 (生涯教育研修別表参照)</p> <p>(2) 医療安全担当者中央交流会 (1回) 7/29 申込者 113 名 (令和 4 年度 90 名) 参加者 91 名 (令和 4 年度 69 名)</p> <p>アンケート n=58 回収率 63.7%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>はい</th> <th>いいえ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ディスカッションに参加し自身で何かできそうか</td> <td>55</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>交流会に参加し何か見出すことができたか</td> <td>56</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>交流会に参加して「他病院の取り組みを聞き、自施設での医療安全対策に関してとても参考になった」・「同じ医療圏・地区の病院と交流する貴重な機会となった」と感想があった。</p> <p>(3) 医療安全担当者地区交流会</p> <p>船橋地区 9/7 35 名 山武地区 9/16 42 名 市川地区 10/7 10 名 印旛地区 10/28 24 名 合計 111 名</p> <p>参加者職種内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>看護師</th> <th>保健師</th> <th>助産師</th> <th>臨床工学技士</th> <th>理学療法士</th> <th>診療放射線技師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>66</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <th>職種</th> <th>薬剤師</th> <th>事務職</th> <th>栄養士</th> <th>介護職</th> <th>その他</th> <th>未記入</th> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンケート n=111 回収率 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>そう思う</th> <th>未記入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修内容は現場に活用できるか</td> <td>105</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部署でチームステップスを活用するためのヒントが得られた ・体験をして、身をもって感じる事ができたので、チーム力UPのために、活かしていきたい ・同じ地区で勤務している人達との研修は初めてだったが、一体感を感じた。 ・多職種交流会が有効で、他施設の情報も知ることができて良かった。 <p>4) 関係機関等との連携促進</p> <p>5) 医療安全委員会 8/24 9/28 11/30 1/25 2/22</p> <p>8. 図書室の運営管理</p> <p>1) 図書の管理運営</p> <p>2) 資料・文献検索・レファレンス</p>	最優秀賞チーム活動の紹介は参考になりましたか?	回答数(名)	割合(%)	大変参考になった	79	50.3	参考になった	58	36.9	あまり参考にならなかった	3	1.9	紹介を聞いていない	17	10.8		157	100.0		はい	いいえ	ディスカッションに参加し自身で何かできそうか	55	3	交流会に参加し何か見出すことができたか	56	2	職種	看護師	保健師	助産師	臨床工学技士	理学療法士	診療放射線技師	参加人数	66	10	1	8	7	1	職種	薬剤師	事務職	栄養士	介護職	その他	未記入	参加人数	6	1	1	1	2	7		そう思う	未記入	研修内容は現場に活用できるか	105	6
最優秀賞チーム活動の紹介は参考になりましたか?	回答数(名)	割合(%)																																																												
大変参考になった	79	50.3																																																												
参考になった	58	36.9																																																												
あまり参考にならなかった	3	1.9																																																												
紹介を聞いていない	17	10.8																																																												
	157	100.0																																																												
	はい	いいえ																																																												
ディスカッションに参加し自身で何かできそうか	55	3																																																												
交流会に参加し何か見出すことができたか	56	2																																																												
職種	看護師	保健師	助産師	臨床工学技士	理学療法士	診療放射線技師																																																								
参加人数	66	10	1	8	7	1																																																								
職種	薬剤師	事務職	栄養士	介護職	その他	未記入																																																								
参加人数	6	1	1	1	2	7																																																								
	そう思う	未記入																																																												
研修内容は現場に活用できるか	105	6																																																												

II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

【目的】ヘルシーワークプレイスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の定着・確保を図る。

事業計画	実 績																																																				
<p>1. 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p style="text-align: center;">重点事業 1-1</p> <p>【目的】看護職が働き続けられる職場づくりを目指して、看護職の定着・確保を図る。</p> <p>1) 看護職定着・確保推進計画の中間評価</p> <p>2) 看護職定着確保対策協議会の開催 1回</p> <p>3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発</p> <p>(1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報</p> <p>(2) 各種協会事業を通じた普及</p> <p>4) 労働環境改善委員会の開催 6回</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上</p> <p>【目的】県内に働く看護職の定着を図るとともに、専門性を発揮しヘルシーワークプレイスを踏まえ働き続けられるための環境づくりを推進する。</p> <p>1) ヘルシーワークプレイス推進事業 重点事業 1-2</p> <p>(1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加</p> <p>(2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ及び「看護ちば」 ・ヘルシーワークプレイス取組施設交流会 ・職員の健康づくりの取組事例の紹介 <p>(3) ヘルシーワークプレイス研修 (生涯教育研修再掲)</p> <p>(4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談 ・施設支援 	<p>1. 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p>1) 看護職定着・確保推進計画の推進・中間評価</p> <p>2) 看護職定着確保対策協議会の開催 1/11</p> <p>(1) 第5次看護職定着・確保推進計画の進捗状況と中間評価について</p> <p>(2) 意見交換</p> <p>3) 看護職定着・確保対策事業の普及啓発</p> <p>(1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報</p> <p>(2) 各種協会事業を通じた普及</p> <p>4) 労働環境改善委員会の開催 7/14 9/8 11/10 12/8 1/12 2/9</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上</p> <p>1) ヘルシーワークプレイス推進事業</p> <p>(1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 応募施設 3施設</p> <p>(2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進 10/1～10/7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ及び「看護ちば」 145号(4月) 146号(7月) 147号(10月号) 148号(1月号) ・ヘルシーワークプレイス交流会 10/5 <p>会 場 ホテルポートプラザちば</p> <p>テーマ 「看護職が健康で安全に働き続けられる職場環境をつくる」</p> <p>-自施設での課題・取り組みについてお互いに話し、改善のヒントを探る- (4病院からの取組発表、グループディスカッション)</p> <p>参加者 54名 (看護部長・副部長 38.2% 看護師長相当 49.2%)</p> <p>アンケート結果 自施設で活用できるヒントがあった。自部署での取り組みの確認ができた等</p> <p>(3) ヘルシーワークプレイス研修 2/1 (生涯教育研修) 参加者 26名</p> <p>(4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口による支援 延 63件 <p>相談方法 来所 5件 電話 47件 メール 11件</p> <p>相談者属性 看護管理者 延 5件 個人 延 58件</p> <p>相談内容別内訳 (延件数)</p> <p>看護管理者 (延べ 5件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>離職・定着確保</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>就業規則</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>労働衛生・メンタルヘルス対策</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>就業規則・教育体制</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>管理体制づくり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table> <p>個人 (延べ 58件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対人・人間関係</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td>夜勤</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>ハラスメント・いじめ</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td>休日有給休暇</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>育児・介護との両立</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>メンタル</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>健康不安(含む感染リスク)</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>就業前の不安</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>職場の対応</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>新卒新人のリアリティショック</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>業務内容</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">58</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・施設支援 45件 <p>支援方法 訪問 42件 電話 3件</p> <p>施設種別 病院 39件、福祉・介護施設 5件、訪問看護ステーション 1件</p>	相談内容	件数	相談内容	件数	離職・定着確保	1	就業規則	1	労働衛生・メンタルヘルス対策	1	就業規則・教育体制	1	管理体制づくり	1			合計			5	相談内容	件数	相談内容	件数	対人・人間関係	22	夜勤	2	ハラスメント・いじめ	10	休日有給休暇	2	育児・介護との両立	6	メンタル	2	健康不安(含む感染リスク)	5	就業前の不安	2	職場の対応	3	新卒新人のリアリティショック	1	業務内容	3			合計			58
相談内容	件数	相談内容	件数																																																		
離職・定着確保	1	就業規則	1																																																		
労働衛生・メンタルヘルス対策	1	就業規則・教育体制	1																																																		
管理体制づくり	1																																																				
合計			5																																																		
相談内容	件数	相談内容	件数																																																		
対人・人間関係	22	夜勤	2																																																		
ハラスメント・いじめ	10	休日有給休暇	2																																																		
育児・介護との両立	6	メンタル	2																																																		
健康不安(含む感染リスク)	5	就業前の不安	2																																																		
職場の対応	3	新卒新人のリアリティショック	1																																																		
業務内容	3																																																				
合計			58																																																		

事業計画	実績																																
<p>(5) ハラスメント対策強化への働きかけ</p> <p>3. ナースセンター事業(千葉県委託)の推進 重点事業 1-3 【目的】 ナースセンターに登録している未就業看護職等に対する復職支援及び職業紹介を行うとともに、看護職の定着・確保に寄与する。</p> <p>1) 看護職の定着・確保に係る実態調査</p>	<p>(5) ハラスメント対策強化への働きかけ 啓発のためのリーフレットを 9,000 部作成。会員施設及び個人会員に配布。 (「看護ちば」1月号送付時に同梱)</p> <p>2) 令和5年度看護補助者キャンペーンウィーク事業(日本看護協会委託事業)</p> <p>(1) 会員等施設代表者会にて、リーフレット配布 7/19</p> <p>(2) 求職者対象イベント 7/21 参加者 9名 目的 県内の施設において、看護補助者の確保が課題となっており、一般の求職者に看護補助者の働き方等を周知することにより、求職者に対する看護補助者への興味関心や認知度の向上を図る。 対象 求職者 会場 千葉県看護会館中研修室 内容 講義「今、求められています。看護補助者の仕事とは」 -具体的な業務内容や1日のスケジュール等についてお話しします- 講義「実際の看護補助者の業務内容について」 -現役看護補助者からのお話</p> <p>3. ナースセンター事業(千葉県委託)</p> <p>1) 看護職の定着確保に係る実態調査</p> <p>(1) 病院看護管理者 期間 4/26～5/15 対象 289 施設 回収数 163 施設 (回収率 56.4%)</p> <p>(2) 未就業看護職 期間 5/12～5/31 対象 170 名 回収数 32 名 (回収率 18.8%)</p> <p>(3) 新人看護職 期間 9/15～9/29 対象 会員施設 622 施設及び訪問看護ステーション管理者 調査において新人を採用したと回答した 4 施設に所属する全ての新人看護職員 回収数 949 名</p> <p>(4) 訪問看護ステーション管理者 期間 6/16～6/30 対象 566 施設 回収数 192 施設 (回収率 33.9%)</p> <p>(5) 統括保健師 期間 6/6～6/20 対象 県及び 54 市町村の統括保健師 回収数 43 名 (回収率 78.2%)</p> <p>(6) 現任教育責任者 期間 6/6～6/20 対象 県保健所現任教育責任者 13 名 回収数 11 名 (回収率 84.6%)</p> <p>(7) 再就業実態調査 期間 5/26～6/9 対象 207 名 回収数 50 名 (回収率 24.2%)</p> <p>離職率</p> <table border="1" data-bbox="949 1834 1906 2030"> <thead> <tr> <th></th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤看護職員</td> <td>転職・進学等</td> <td>転居</td> <td>健康上の理由</td> </tr> <tr> <td>新卒看護職員</td> <td>メンタルヘルス不調</td> <td>転職・進学等</td> <td>健康上の理由</td> </tr> <tr> <td>既卒看護職員</td> <td colspan="2">健康上の理由 転職・進学等</td> <td>転居</td> </tr> </tbody> </table> <p>離職理由</p> <table border="1" data-bbox="949 2113 1621 2273"> <thead> <tr> <th></th> <th>5年度</th> <th>4年度</th> <th>JNA 5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤看護職員</td> <td>13.5%</td> <td>12.2%</td> <td>11.8%</td> </tr> <tr> <td>新卒看護職員</td> <td>10.7%</td> <td>11.4%</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>既卒看護職員</td> <td>17.6%</td> <td>13.3%</td> <td>16.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新人看護職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人経験について ある 182 名(19.2%) ない 767 名(80.8%) ・やめたいと思ったこと ある 607 名(64.0%、前年度 69.9%) ・やめたいと思った理由 勤務時間内に仕事が終わらない 57.0% 自分は看護職に向いていないのではないかと思う 53.2% 医療事故を起こさないか心配 50.4% ・就業 2 年目に向けて勤務先に希望すること 感染に対する知識・技術等についてもっとフォローして欲しい 39.5% 相談できるサポート体制を充実して欲しい 33.2% 交流の場が欲しい 23.9% 感染に対する知識・技術を習得したい 23.0% 		1位	2位	3位	常勤看護職員	転職・進学等	転居	健康上の理由	新卒看護職員	メンタルヘルス不調	転職・進学等	健康上の理由	既卒看護職員	健康上の理由 転職・進学等		転居		5年度	4年度	JNA 5年度	常勤看護職員	13.5%	12.2%	11.8%	新卒看護職員	10.7%	11.4%	10.2%	既卒看護職員	17.6%	13.3%	16.6%
	1位	2位	3位																														
常勤看護職員	転職・進学等	転居	健康上の理由																														
新卒看護職員	メンタルヘルス不調	転職・進学等	健康上の理由																														
既卒看護職員	健康上の理由 転職・進学等		転居																														
	5年度	4年度	JNA 5年度																														
常勤看護職員	13.5%	12.2%	11.8%																														
新卒看護職員	10.7%	11.4%	10.2%																														
既卒看護職員	17.6%	13.3%	16.6%																														

事業計画	実 績																								
	<p>(訪問看護ステーション管理者)</p> <p>・離職率 常勤 17.5% 非常勤 17.6% 既卒 27.8%</p> <p>離職理由</p> <table border="1" data-bbox="949 332 1904 590"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 位</th> <th>2 位</th> <th>3 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤看護職員</td> <td>職場の労働条件・労働環境への不満</td> <td colspan="2">健康上の理由 メンタルヘルス不調</td> </tr> <tr> <td>非常勤看護職員</td> <td>健康上の理由</td> <td colspan="2">家族の介護 転職・進学等</td> </tr> <tr> <td>既卒看護職員</td> <td>健康上の理由</td> <td colspan="2">職場の労働条件・労働環境への不満 他の訪問看護ステーションへ転職</td> </tr> </tbody> </table> <p>(県・市町村の統括的役割を果たす保健師)</p> <p>・離職率 県 4.1% 市町村 6.5%</p> <p>離職理由</p> <table border="1" data-bbox="949 777 1871 893"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 位</th> <th>2 位</th> <th>3 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>転職・進学等</td> <td>結婚・妊娠 出産・育児</td> <td>健康上の理由</td> </tr> </tbody> </table>		1 位	2 位	3 位	常勤看護職員	職場の労働条件・労働環境への不満	健康上の理由 メンタルヘルス不調		非常勤看護職員	健康上の理由	家族の介護 転職・進学等		既卒看護職員	健康上の理由	職場の労働条件・労働環境への不満 他の訪問看護ステーションへ転職			1 位	2 位	3 位		転職・進学等	結婚・妊娠 出産・育児	健康上の理由
	1 位	2 位	3 位																						
常勤看護職員	職場の労働条件・労働環境への不満	健康上の理由 メンタルヘルス不調																							
非常勤看護職員	健康上の理由	家族の介護 転職・進学等																							
既卒看護職員	健康上の理由	職場の労働条件・労働環境への不満 他の訪問看護ステーションへ転職																							
	1 位	2 位	3 位																						
	転職・進学等	結婚・妊娠 出産・育児	健康上の理由																						
<p>2) 看護職の無料職業紹介</p> <p>3) 届出制度</p> <p>4) 未就業看護職の就業支援</p> <p>(1) 看護基礎技術講習会</p> <p>(2) 合同就職説明会</p> <p>(3) 看護職への求人情報の提供</p> <p>(4) 公共職業安定所と連携した相談ブースの設置</p> <p>(5) サテライト事業の推進</p> <p>(6) 就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集</p> <p>(7) プラチナナース研修会</p>	<p>2) 看護職の無料職業紹介 () 内は前年度の実績</p> <p>e ナースセンター利用者数 10,354 名 (9,449 名)</p> <p>新規求人数 2,445 名 (2,176 名)</p> <p>新規求職者数 683 名 (953 名)</p> <p>紹介者数 (応募者数) 538 名 延 654 名 (773 名 延 828 名)</p> <p>就業者数 389 名 (554 名)</p> <p>3) 届出制度</p> <p>(1) 届出者数 734 名 代行届出数 387 名 代行届出率 52.7% (前年同期 961 名 代行届出数 566 名 代行届出率 58.9%)</p> <p>(2) 一斉メール等による e ナースセンターへの登録の推進 月 1 回届出者にメール送信</p> <p>(3) 合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供</p> <p>(4) 届出者に対する就業支援 (電話・メール等)</p> <p>(5) 郵送による就業調査 (届出の 3 ヶ月後)</p> <p>発送数 204 名 回収数 74 名 就業者数 36 名</p> <p>4) 未就業看護職の就業支援</p> <p>(1) 看護基礎技術講習会 (6 回/月程度開催)</p> <p>60 回実施 参加者 100 名 (延 148 名) 就業者 57 名 (就業率 57.0%) (前年同期 63 回実施 参加者 106 名延 126 名 就業者 56 名 就業率 52.8%) 内容 採血・点滴・筋肉注射・皮下注射・吸引・経管栄養・インスリン注射・ CV ポート管理・膀胱留置カテーテル挿入・摘便</p> <p>(2) 合同就職説明会の開催 (年 2 回開催)</p> <p>第 1 回 8/26 集合開催 300 床未満の病院対象 求人施設 22 施設、求職者 21 名参加、就業者 10 名 第 2 回 11/11 集合開催 診療所・介護施設対象 求人施設 19 施設、求職者 23 名参加、就業者 11 名</p> <p>(3) 看護職への求人情報の提供 6 月 9 月 12 月 3 月</p> <p>(4) 公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 73 回開催・相談者 120 名</p> <p>(5) サテライト事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 (再掲) ・合同就職説明会の開催 (再掲) <p>(6) 就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集 施設訪問実績無し</p> <p>(7) プラチナナース研修会 8/25 集合開催</p> <p>参加者 48 名(就業中 44 名、未就業者 4 名)</p> <p>アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の満足度 <p>プラチナナースとしての活動の実際 97.7%</p> <p>求人施設からプラチナナースに期待すること 97.7%</p> <p>人生 100 年時代に向けたマネープラン 95.4%</p>																								

事業計画	実 績
<p>(8)ナースセンター来所者、公共職業安定所相談者への就業確認</p> <p>(9) 未就業者へのeラーニング研修</p> <p>5) ナースセンター運営委員会</p> <p>6) ナースセンター事業の広報</p> <p>7) 日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携</p> <p>8) 看護職への相談支援</p> <p>9) 看護進路相談事業</p> <p>(1) 出前授業</p> <p>(2) ふれあい看護体験</p> <p>(3) 進路相談</p> <p>10) 訪問看護再就業支援事業</p> <p>11) ナースセンター維持管理</p>	<p>(8) ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認 2月郵送 発送数 231名 回収数 85名(内web回答32名) 就業者数 50名(内web回答28名)</p> <p>(9) 未就業者へのeラーニング研修 学研ナーシングサポート 49名(前年 49名) 総視聴時間 480時間(前年 183時間) ビジュアルナーシングメソッド 44名(前年 49名) 総視聴時間 224時間(前年 75時間) 就業率 43.1% アンケート ・知ったきっかけ ホームページや案内メール 86.7% ・必須項目の参考度 参考になった 82.2% ・受講後の就業意欲 高まった 73.4% ・受講期間 短かった 64.4%</p> <p>5) ナースセンター運営委員会の開催 12/21 (1) 令和4年度千葉県ナースセンター事業報告について (2) 令和5年度千葉県ナースセンター事業計画及び進捗状況について (3) ナースセンター事業の今後の方向性について (4) 意見交換</p> <p>6) ナースセンター事業の広報 リーフレットの配布、「看護ちば」145号、146号、147号、148号掲載</p> <p>7) 日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携 (1) 2023年度ナースセンター事業担当者会議(日本看護協会主催) 6/2 (2) 2023年度ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議 8/2 2/1 (3) 2023年度都道府県ナースセンター就業相談員研修 9/13 (4) 2023年度キャリアコンサルティング研修 11/9 11/29 12/13 12/14 12/20 (5) 2023年度地域に必要な看護職確保推進事業報告会 2/29 (6) 看護資格の活用基盤強化および看護補助者の確保・定着に関する説明会 3/6 (7) 第7次NCCSの機能に関する説明会 3/15</p> <p>8) 看護職への相談支援 3,898名</p> <p>9) 看護進路相談事業 (1) 出前授業(いのちの大切さ、看護進路等) 申込37校(小学校7校、中学校23校、高等学校7校) (令和4年度40校 小学校10校、中学校22校、高等学校8校) 参加者 3,377名(令和4年度3,558名) 地区別内訳 千葉 9校 船橋 4校 市川 4校 松戸 1校 東葛 5校 印旛 6校 山武 3校 利根 3校 君津 2校 テーマ別内訳 いのちの大切さ 19校 看護の仕事 14校 いのちの大切さ+看護の仕事 4校</p> <p>(2) ふれあい看護体験 協力施設 82施設 実施施設(延べ) 120施設 (令和4年度 協力施設 58施設 実施施設(延べ) 35施設) 参加者 996名(令和4年度 532名) アンケート n=842 回収率84.5% 学年 中学生 2.0% 高1 9.1% 高2 22.1% 高3 59.3% 未記入 7.5% 応募の動機(複数回答) ・看護師への進路希望 687件 ・医療系に興味がある 171件 ・看護師の仕事内容に興味がある 169件</p> <p>(3) 進路相談 相談件数 28件(令和4年度26件)</p> <p>10) 訪問看護再就業支援事業</p> <p>11) ナースセンター維持管理</p>

事業計画	実績
	<p>4. 2023年度「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント」(日本看護協会委託事業) 12/2</p> <p>目的 自治体保健師の魅力を現場の保健師が伝え、県内自治体への保健師の確保を図る。</p> <p>対象 看護学生、学生の保護者、保健師資格保有者</p> <p>会場 モリシアホール</p> <p>参加自治体数 10自治体</p> <p>参加者数 43名</p> <p>内容：第一部「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのWebイベント」 パブリックビューイングによる自治体保健師活動の講演及び座談会 第二部「自治体保健師との相談会」</p>

Ⅲ 訪問看護の推進に関する事業

【目的】在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。

事業計画	実績												
<p>1. 訪問看護推進事業（千葉県委託） 重点事業 3-3</p> <p>【目的】在宅療養を円滑に導入するため、訪問看護サービスの内容、利用方法、利用料など訪問看護に関して、県民や看護職等専門職からの相談に応じるとともに、関係職種が訪問看護に関する理解を深め、連携を強化し情報の共有化を図り、安心して在宅療養ができるように訪問看護を推進する。</p> <p>1) 訪問看護推進協議会の開催</p> <p>(1) 会議の開催 2回</p> <p>(2) 部会の開催 重点事業 1-5-1</p> <p>・訪問看護総合支援センター（仮称）設置の実現に向けた継続的な検討</p> <p>2) 訪問看護に関する総合相談</p> <p>3) 地域連携フォーラムの開催</p> <p>4) パンフレットの配布等</p> <p>5) 訪問看護指導者育成研修会 2回</p>	<p>1. 訪問看護推進事業（千葉県委託）</p> <p>1) 訪問看護推進協議会の開催</p> <p>(1) 会議の開催 8/1 2/3 会場 千葉県看護協会</p> <p>(2) 部会の設置</p> <p>訪問看護総合支援センター（仮称）設置に関する検討部会</p> <p>2) 訪問看護に関する総合相談</p> <p>相談件数 42件（昨年同時期 47件）</p> <p>相談者内訳 看護職 17件 県民 9件 ケアマネジャー 8件 事務職 5件 リハ職 1件 その他 2件</p> <p>相談者属性 訪問看護従事者 13件 その他従事者 11件 県民 5件</p> <p>相談内容内訳 訪問看護サービスに関する事 24件 運営管理について 6件 介護に関する事 2件 処置に関する事 3件 その他 7件</p> <p>3) 地域連携フォーラム 11/25 Web</p> <p>参加者 28名 看護職 20名（訪問看護師 3名含む） 介護支援専門員 4名 薬剤師 1名 ソーシャルワーカー等 3名</p> <p>テーマ その人らしい生活を支えるために</p> <p>内容 実践報告（県看多機協議会会長 千葉市歯科医師会理事） グループディスカッション</p> <p>アンケート n=26 (%)</p> <table border="1" data-bbox="947 2021 1911 2169"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践報告</td> <td>18 (64.3)</td> <td>8 (28.5)</td> <td>0 (0.0)</td> </tr> <tr> <td>グループディスカッション</td> <td>20 (71.4)</td> <td>5 (17.8)</td> <td>1 (3.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>感想</p> <p>役割の違う多職種の専門性を生かしながら、顔の見える支援者どうしの連携のより良い方法について、解決策のヒントを得る機会となった。</p> <p>4) パンフレットの配布</p> <p>「訪問看護利用の手引き」 マイナースとつくる安全で安心な在宅での生活方法 当協会ホームページに掲載（ダウンロード可）</p> <p>5) 訪問看護指導者育成研修会 9/23 10/21 会場 千葉県看護協会</p> <p>参加者 34名（1回目 17名 2回目 17名）</p> <p>内容 1回目 経営管理と人材育成 2回目 BCP作成</p> <p>方法 講義及びグループディスカッション、演習</p>		満足	やや満足	やや不満	実践報告	18 (64.3)	8 (28.5)	0 (0.0)	グループディスカッション	20 (71.4)	5 (17.8)	1 (3.6)
	満足	やや満足	やや不満										
実践報告	18 (64.3)	8 (28.5)	0 (0.0)										
グループディスカッション	20 (71.4)	5 (17.8)	1 (3.6)										

事業計画	実績																																												
<p>6) 訪問看護再就業支援事業 重点事業 1-3-1</p> <p>(1) 訪問看護基礎研修会 4回</p> <p>(2) 訪問看護ステーション見学体験事業</p> <p>(3) 訪問看護就職フェア 1回</p> <p>7) 訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会 1回</p> <p>8) 学生向け訪問看護ガイダンスの実施</p> <p>2. 訪問看護推進事業（協会単独事業） 重点事業 3-3-1</p> <p>【目的】在宅医療の中核を担う訪問看護を安定的にかつ質の高い提供を行うために、訪問看護を提供する人材の育成及び訪問看護ステーションの業務の効率化等に向けた支援を行い、訪問看護師の定着を図る。</p> <p>1) 訪問看護師人材育成事業</p> <p>(1) 「新卒者等訪問看護師育成プログラム」を活用した人材育成支援事業 対象：新卒訪問看護師、チャレンジ看護師、転職看護師</p> <p>(2) 「新卒者等訪問看護師育成プログラム」活用拡大に関する運用評価</p> <p>(3) 「新卒者等訪問看護師育成プログラム」を活用した人材育成事業の普及</p> <p>(4) 訪問看護師養成講習会（再掲）</p>	<p>アンケート</p> <p>1回目（講義とグループディスカッション） n = 8 (%)</p> <table border="1" data-bbox="947 278 1913 507"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護を取り巻く社会状況と管理者に求められる役割</td> <td>8 (100)</td> <td>0 (0.0)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問看護ステーションの経営管理について</td> <td>7 (87.5)</td> <td>1 (12.5)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問看護における人材確保と育成について</td> <td>8 (100)</td> <td>0 (0.0)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2回目（講義と演習） n = 16 (%)</p> <table border="1" data-bbox="947 552 1913 744"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義</td> <td>6 (37.5)</td> <td>7 (43.8)</td> <td>3 (18.7)</td> <td>0 (0.0)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成</td> <td>やや達成</td> <td>やや未達成</td> <td>未達成</td> </tr> <tr> <td>演習</td> <td>3 (18.7)</td> <td>9 (56.3)</td> <td>3 (18.7)</td> <td>1 (6.3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>6) 訪問看護再就業支援事業</p> <p>(1) 訪問看護基礎研修会 4回 会場 千葉県看護協会 1日コース 7/21 10/23 12/25（講義のみ 15名 講義 技術体験 27名） 半日コース（講義のみ） 8/29 ハイブリッド（会場 4名、Web 5名） 参加者 51名 訪問看護への就業者 7名 アンケート 就業意欲が高まった 93.9%</p> <p>(2) 訪問看護ステーション見学体験事業（8月～2月） 申込者 8名 実施者 7名 訪問看護への就業者 2名</p> <p>(3) 訪問看護就職フェア 12/9 会場 千葉県看護協会 参加者 15名（うち学生 5名） 求人施設 16ヶ所 訪問看護への就業者 1名 内容 講演・就業相談（訪問看護ステーション 就業相談推進アドバイザー）</p> <p>7) 訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会 1/27 会場 ホテルプラザ菜の花 参加者数 17名（訪問看護未設置 2名）</p> <p>8) 学生向け訪問看護ガイダンス 実施回数 教員対象 3校（参加者 6名） 学生対象 13校（参加者 791名） 内容 講義 1 在宅医療を取り巻く状況と訪問看護師の育成（新卒者等訪問看護師育成プログラムの紹介） 講義 2 育成プログラムを利用した新卒訪問看護師からの体験談</p> <p>2. 訪問看護推進事業（協会単独事業）</p> <p>1) 訪問看護師人材育成事業</p> <p>(1) 「新卒者等訪問看護師育成プログラム（以下「新卒プログラム）」を活用した人材育成支援事業 育成支援実施 新卒看護師 2名（育成期間 2年中 1年目 1名 終了 1名） 転職看護師 2名（育成期間 1年 修了 1名 終了 1名） 平成 24 年度からの累積人数 新卒看護師 15名 転職看護師 2名 チャレンジ看護師 21名 新人育成交流会 8/19 会場 千葉県看護協会 参加者 新人（2年未満） 12名 管理者等 16名 講演 「訪問看護に期待すること」「新卒プログラム活用の実際」 交流会 「新人グループ」「管理者等グループ」で実施 アンケート 「横のつながりをつくる」達成・やや達成 100% 「新人育成に役立つ（管理者等）」該当・やや該当 100% 「就業継続の意欲向上（新人）」該当・やや該当 100%</p> <p>(2) 「新卒プログラム」活用拡大に関する運用評価 実務研修の実施要領等</p> <p>(3) 「新卒プログラム」を活用した人材育成事業の普及 訪問看護ガイダンス（再掲）による周知</p> <p>(4) 訪問看護師養成講習会の開催（再掲）</p>						満足	やや満足	やや不満	不満	訪問看護を取り巻く社会状況と管理者に求められる役割	8 (100)	0 (0.0)			訪問看護ステーションの経営管理について	7 (87.5)	1 (12.5)			訪問看護における人材確保と育成について	8 (100)	0 (0.0)				満足	やや満足	やや不満	不満	講義	6 (37.5)	7 (43.8)	3 (18.7)	0 (0.0)		達成	やや達成	やや未達成	未達成	演習	3 (18.7)	9 (56.3)	3 (18.7)	1 (6.3)
		満足	やや満足	やや不満	不満																																								
	訪問看護を取り巻く社会状況と管理者に求められる役割	8 (100)	0 (0.0)																																										
	訪問看護ステーションの経営管理について	7 (87.5)	1 (12.5)																																										
	訪問看護における人材確保と育成について	8 (100)	0 (0.0)																																										
		満足	やや満足	やや不満	不満																																								
	講義	6 (37.5)	7 (43.8)	3 (18.7)	0 (0.0)																																								
		達成	やや達成	やや未達成	未達成																																								
	演習	3 (18.7)	9 (56.3)	3 (18.7)	1 (6.3)																																								

事業計画	実績
<p>2) 看護小規模多機能型居宅介護（看多機）に関する現状把握 重点事業 3-3-3</p> <p>(1) 訪問看護推進協議会、関連会議等における情報収集</p> <p>3. 関係団体との連携</p> <p>【目的】高齢化の進展や在宅日数の短縮等に伴い、医療ニーズの高い在宅療養者の増加が予測される中、質の高い在宅医療の推進が重要な課題となっている。</p> <p>訪問看護に関する事業を円滑に推進するために、関係機関との連携を強化し、情報収集等を行い課題解決への参考とする。</p> <p>1) 日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 2) 千葉県訪問看護ステーション協会等との連携</p>	<p>2) 看護小規模多機能型居宅介護（看多機）に関する現状把握</p> <p>(1) 訪問看護推進協議会、関連会議等における情報収集 千葉県看多機連絡協議会との情報交換 9/20 千葉県看護協会 第1回ちば看多機研究会 2/10 千葉県社会福祉センター</p> <p>3. 関係団体との連携</p> <p>1) 看護協会・訪問看護事業協会合同会議 11/17 2) 千葉県訪問看護ステーション協会等との連携 千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議 7/22 2/3 会場 千葉県看護協会 事務局 千葉県看護協会</p>

IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業

【目的】看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。

事業計画	実績																											
<p>1. 「看護の日」「看護週間」事業 重点事業 1-4</p> <p>【目的】若年層を中心とした県民に、実際の看護体験を伝え、看護への興味・関心を深め、看護職への就業促進を図る。</p> <p>1) 令和5年度「看護の日・看護週間」事業</p> <p>(1) 中央行事の開催 開催日 令和5年5月13日（土）11:00～15:30 場所 ペリエホール</p>	<p>1. 「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>1) 令和5年度「看護の日・看護週間」事業</p> <p>(1) 中央行事の開催 開催日 令和5年5月13日（土）11:00～15:30 場所 ペリエホール テーマ 看護の心をみんなの心にー看護の力で未来を支えようー 参加者 45名</p> <table border="1" data-bbox="1020 1673 1887 1866"> <thead> <tr> <th></th> <th>10歳未満</th> <th>10代</th> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60代以上</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者(名)</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>13</td> <td>31</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>18</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>10代の感想 講演で貴重な話を聞くことができ、看護の理解を深められて良かった。看護師を目指したい。 進路について相談できてよかった。 学生さんからアドバイスを聞いて不安だったことが減り、看護師になるのが楽しみになった。</p>		10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計	参加者(名)	6	14	7	4	8	5	1	45	割合(%)	13	31	16	9	18	11	2	100
	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計																				
参加者(名)	6	14	7	4	8	5	1	45																				
割合(%)	13	31	16	9	18	11	2	100																				

事業計画	実績																																																																																																																																																					
<p>(2) 地区部会での行事の開催</p> <p>開催日 各地区部会で設定した日</p> <p>会場 地区部会ごとに決定した施設</p> <p>内容 若年層をターゲットとした看護の魅力が伝わる内容</p> <p>2) 実行委員会の開催</p> <p>3) ナーシングデイ&ウィーク（「看護の日」事業報告書）配布</p> <p>2. 「まちの保健室」事業</p> <p>【目的】 県民が気軽に自身や家族の健康について相談できる場の確保を図るとともに、時代に応じた健康問題をとりあげ、予防の観点から健康教育を実施する。</p> <p>1) 常設型・イベント型の開催</p>	<p>(2) 地区部会での行事の開催</p> <table border="1" data-bbox="991 231 1915 926"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区</th> <th rowspan="2">開催日</th> <th rowspan="2">会場</th> <th rowspan="2">参加者 (名)</th> <th colspan="2">若年層参加者</th> </tr> <tr> <th>(名)</th> <th>(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①千葉</td> <td>5/14</td> <td>おゆみ野イオン</td> <td>345</td> <td>94</td> <td>27.2</td> </tr> <tr> <td>②市原</td> <td>5/14</td> <td>ユニモちはら台</td> <td>170</td> <td colspan="2">不明</td> </tr> <tr> <td>③船橋</td> <td>5/13</td> <td>東京女子医科大学八千代医療センター、船橋整形外科病院、初富保健病院</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>⑥東葛</td> <td>5/13</td> <td>(一社) 柏の葉アーバンデザインセンター</td> <td>19</td> <td>5</td> <td>26.3</td> </tr> <tr> <td>⑦印旛</td> <td>5/6</td> <td>メガドン・キホーテ四街道店</td> <td>35</td> <td>23</td> <td>65.7</td> </tr> <tr> <td>⑧利根</td> <td>5/13</td> <td>イオンモール銚子</td> <td>117</td> <td>13</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>⑨山武</td> <td>5/13</td> <td>東金サンピア</td> <td>82</td> <td>1</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>⑩長夷</td> <td>5/13</td> <td>おおたきショッピングプラザオリブ</td> <td>45</td> <td>2</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>⑪君津</td> <td>5/7</td> <td>君津中央病院</td> <td>34</td> <td>21</td> <td>61.8</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>863</td> <td>175</td> <td>20.3</td> </tr> </tbody> </table>								地区	開催日	会場	参加者 (名)	若年層参加者		(名)	(%)	①千葉	5/14	おゆみ野イオン	345	94	27.2	②市原	5/14	ユニモちはら台	170	不明		③船橋	5/13	東京女子医科大学八千代医療センター、船橋整形外科病院、初富保健病院	16	16	100	⑥東葛	5/13	(一社) 柏の葉アーバンデザインセンター	19	5	26.3	⑦印旛	5/6	メガドン・キホーテ四街道店	35	23	65.7	⑧利根	5/13	イオンモール銚子	117	13	11.1	⑨山武	5/13	東金サンピア	82	1	1.2	⑩長夷	5/13	おおたきショッピングプラザオリブ	45	2	4.4	⑪君津	5/7	君津中央病院	34	21	61.8	合計			863	175	20.3																																																																										
地区	開催日	会場	参加者 (名)	若年層参加者																																																																																																																																																		
				(名)	(%)																																																																																																																																																	
①千葉	5/14	おゆみ野イオン	345	94	27.2																																																																																																																																																	
②市原	5/14	ユニモちはら台	170	不明																																																																																																																																																		
③船橋	5/13	東京女子医科大学八千代医療センター、船橋整形外科病院、初富保健病院	16	16	100																																																																																																																																																	
⑥東葛	5/13	(一社) 柏の葉アーバンデザインセンター	19	5	26.3																																																																																																																																																	
⑦印旛	5/6	メガドン・キホーテ四街道店	35	23	65.7																																																																																																																																																	
⑧利根	5/13	イオンモール銚子	117	13	11.1																																																																																																																																																	
⑨山武	5/13	東金サンピア	82	1	1.2																																																																																																																																																	
⑩長夷	5/13	おおたきショッピングプラザオリブ	45	2	4.4																																																																																																																																																	
⑪君津	5/7	君津中央病院	34	21	61.8																																																																																																																																																	
合計			863	175	20.3																																																																																																																																																	
	<p>感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりの看護の日に参加できてよかった。 ・看護師の仕事は量も内容も想像以上に多く驚いた。看護師が患者に常に優しい態度で接していたことに感動した。 ・心臓マッサージなど小さい子供がいるので勉強になった。 <p>2) 実行委員会の開催 7/25 1/16</p> <p>3) ナーシングデイ&ウィーク（「看護の日」事業報告書）配布</p> <p>2. 「まちの保健室」事業</p> <p>1) 常設型・イベント型の開催</p> <table border="1" data-bbox="949 1558 1948 2338"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">令和5年</th> <th colspan="4">令和元年</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実施回数(回)</th> <th colspan="2">参加者(名)</th> <th colspan="2">実施回数(回)</th> <th colspan="2">参加者(名)</th> </tr> <tr> <th>常設</th> <th>イベント</th> <th>常設</th> <th>イベント</th> <th>常設</th> <th>イベント</th> <th>常設</th> <th>イベント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉地区</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>439</td> <td>557</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>794</td> </tr> <tr> <td>市原地区</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>119</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>172</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>船橋地区</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>47</td> <td>156</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>25</td> <td>413</td> </tr> <tr> <td>市川地区</td> <td>1</td> <td></td> <td>74</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>177</td> <td></td> </tr> <tr> <td>松戸地区</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>69</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>東葛地区</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>402</td> <td>2</td> <td></td> <td>288</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印旛地区</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td></td> <td>454</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利根地区</td> <td>2</td> <td></td> <td>143</td> <td></td> <td>6</td> <td></td> <td>429</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山武地区</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>139</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>84</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>長夷地区</td> <td>3</td> <td></td> <td>24</td> <td></td> <td>4</td> <td>1</td> <td>37</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>君津地区</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>241</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>安房地区</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>110</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>28</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>727</td> <td>1,724</td> <td>36</td> <td>13</td> <td>1,763</td> <td>2,108</td> </tr> </tbody> </table> <p>感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の時は話づらいので、ゆっくり話ができて分かりやすく良かった。 ・診てもらっている先生になかなか聞けない事が相談できよかった。 ・楽しみにしているので次回の日程を教えてください。(複数意見) ・身体のチェックになり普段の生活を見直す機会になる。(多数意見) 									令和5年				令和元年				実施回数(回)		参加者(名)		実施回数(回)		参加者(名)		常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント	千葉地区	1	1	439	557		3		794	市原地区		1		119	5	1	172	238	船橋地区	2	1	47	156	4	2	25	413	市川地区	1		74		3		177		松戸地区					1	1	69	345	東葛地区		3		402	2		288		印旛地区					8		454		利根地区	2		143		6		429		山武地区		2		139	1	2	84	137	長夷地区	3		24		4	1	37	5	君津地区		2		241		2		114	安房地区		1		110	2	1	28	62	合計	9	11	727	1,724	36	13	1,763	2,108
	令和5年				令和元年																																																																																																																																																	
	実施回数(回)		参加者(名)		実施回数(回)		参加者(名)																																																																																																																																															
	常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント																																																																																																																																														
千葉地区	1	1	439	557		3		794																																																																																																																																														
市原地区		1		119	5	1	172	238																																																																																																																																														
船橋地区	2	1	47	156	4	2	25	413																																																																																																																																														
市川地区	1		74		3		177																																																																																																																																															
松戸地区					1	1	69	345																																																																																																																																														
東葛地区		3		402	2		288																																																																																																																																															
印旛地区					8		454																																																																																																																																															
利根地区	2		143		6		429																																																																																																																																															
山武地区		2		139	1	2	84	137																																																																																																																																														
長夷地区	3		24		4	1	37	5																																																																																																																																														
君津地区		2		241		2		114																																																																																																																																														
安房地区		1		110	2	1	28	62																																																																																																																																														
合計	9	11	727	1,724	36	13	1,763	2,108																																																																																																																																														

事業計画	実績																																																																						
<p>3. 自殺予防対策</p> <p>【目的】自殺の原因第1位である「健康問題」を始め様々な悩みの原因について受け止め、ゲートキーパーの役割として、相談先の紹介等解決に向けた支援を行う「心の総合相談窓口」を継続する。 県内看護職が、自他共に生かせるメンタルヘルス対策を習得し、看護の資質の向上を図る。</p> <p>1) 心の総合相談窓口</p> <p>(1) 専用電話・専用メールによる対応</p> <p>(2) 自殺予防に関する広報</p> <p>(3) 相談員研修</p> <p>2) 人材育成研修の開催(第2次千葉県自殺対策推進計画内研修)(再掲)</p> <p>(1)「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)～私にできること～」</p> <p>(2)「メンタルヘルス不調のラインケア～看護管理者の役割～」</p> <p>3) 自殺対策関連会議への参加</p> <p>4. 関係機関・他団体への協力</p> <p>1) 千葉県小児救急電話相談事業への協力</p> <p>2) 健康ちば推進県民大会</p> <p>3) その他関連機関行事</p> <p>4) たばこ対策関係</p>	<p>3. 自殺予防対策</p> <p>1) 心の総合相談窓口</p> <p>(1) 専用電話・専用メールによる対応</p> <table border="1" data-bbox="949 549 1635 917"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">相談件数(件)</td> <td>229</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">相談方法</td> <td>電話相談</td> <td>181</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>メール相談</td> <td>48</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td colspan="2">相談者数(名)</td> <td>154</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">相談者背景</td> <td>県民</td> <td>131</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>看護職</td> <td>18</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>相談内容別内訳</p> <table border="1" data-bbox="949 961 1803 1193"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神的問題</td> <td>78</td> <td>人間関係</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>検査・治療関係</td> <td>48</td> <td>経済的問題</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>家族関係</td> <td>16</td> <td>その他</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>229</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 自殺予防に関する広報</p> <p>県内病院や訪問看護ステーション、公的機関、会員施設等へカードを配布 看護会館、ナースセンター内設置(合計 65,800 枚)</p> <p>心の総合相談窓口を知った媒体</p> <table border="1" data-bbox="949 1418 1911 1584"> <thead> <tr> <th></th> <th>カード</th> <th>チラシ</th> <th>HP</th> <th>ミニコミ誌</th> <th>紹介</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談者数(名)</td> <td>123</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>79.8</td> <td>0.6</td> <td>11.6</td> <td>1.9</td> <td>4.5</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 相談員研修</p> <p>令和5年度佐倉市ゲートキーパー養成研修 10/14</p> <p>2) 人材育成研修の開催(第2次千葉県自殺対策推進計画内研修)(生涯教育再掲)</p> <p>(1)「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)～私にできること～」</p> <p>(2)「メンタルヘルス不調のラインケア～看護管理者の役割～」</p> <p>3) 自殺対策関連会議への参加</p> <p>4. 関係機関・他団体への協力</p> <p>1) 千葉県小児救急電話相談事業への協力</p> <p>千葉県小児救急電話相談事業運営協議会 9/5 3/25 勤務表の作成(2か月毎) 登録相談員 16名 令和5年12月1日から相談時間が2時間延長(6:00～8:00)への対応 相談員研修の開催 12/16 2/11</p> <p>2) 健康ちば推進県民大会</p> <p>開催方法 YouTube 千葉県公式セミナーチャンネル 開催期間 11/28～12/19 申込数 108名</p> <p>3) その他関連機関行事</p> <p>がん予防展</p> <p>がん予防展・がん講演会打合せ会議 6/26 7/26 8/24 9/3 10:00～16:00 セブンパークアリオ柏にて開催 東葛地区部会員3名参加</p> <p>4) たばこ対策関係</p> <p>令和5年度「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」普及啓発用ポスターを看護師等学校養成所 44校に送付</p>			令和5年度	令和4年度	相談件数(件)		229	290	相談方法	電話相談	181	240	メール相談	48	50	相談者数(名)		154	239	相談者背景	県民	131	203	看護職	18	13	その他	5	23	相談内容	件数	相談内容	件数	精神的問題	78	人間関係	7	検査・治療関係	48	経済的問題	19	家族関係	16	その他	61	合計			229		カード	チラシ	HP	ミニコミ誌	紹介	その他	相談者数(名)	123	1	18	3	7	2	割合(%)	79.8	0.6	11.6	1.9	4.5	1.3
		令和5年度	令和4年度																																																																				
相談件数(件)		229	290																																																																				
相談方法	電話相談	181	240																																																																				
	メール相談	48	50																																																																				
相談者数(名)		154	239																																																																				
相談者背景	県民	131	203																																																																				
	看護職	18	13																																																																				
	その他	5	23																																																																				
相談内容	件数	相談内容	件数																																																																				
精神的問題	78	人間関係	7																																																																				
検査・治療関係	48	経済的問題	19																																																																				
家族関係	16	その他	61																																																																				
合計			229																																																																				
	カード	チラシ	HP	ミニコミ誌	紹介	その他																																																																	
相談者数(名)	123	1	18	3	7	2																																																																	
割合(%)	79.8	0.6	11.6	1.9	4.5	1.3																																																																	

事業計画	実績
<p>5. 災害支援対策事業 重点事業 4-2</p> <p>【目的】災害時において、日本看護協会、各都道府県看護協会、千葉県、県内 12 地区部会と連携し、迅速に支援ナースの派遣等ができるよう、平常時より連携を強化し、支援体制を整備する。</p> <p>1) 災害支援ネットワークの強化</p> <p>(1) 災害時における関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、関係団体等 <p>(2) 平常時における連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内施設、日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練等 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 <p>2) 災害に備えた支援体制の整備</p> <p>(1) 災害支援ナースの登録促進</p> <p>(2) 災害支援ナースの登録・管理</p> <p>(3) 天災危険担保特約付国内旅行傷害保険包括契約の継続</p> <p>(4) 災害時の災害支援ナースの派遣調整</p> <p>(5) 災害時必要物品の管理 1 回</p> <p>3) 災害支援ナースの育成</p> <p>(1) 「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎的知識」</p> <p>(2) 「災害医療と看護（実践編）」</p> <p>(3) 災害支援ナース更新・再登録要件講習会</p> <p>4) 災害対策委員会の開催</p> <p>6. 感染症対策事業 重点事業 4-1</p> <p>【目的】新興感染症等の感染対策に関する最新の知識、技術を習得し、看護の対象者や自身及び職場の感染を防ぎ、安全な看護を実践できる看護職を育成する。</p> <p>1) 支援体制の整備</p> <p>(1) 感染症対策委員会の開催 6 回</p> <p>(2) 感染症対策出向支援 6 回</p> <p>2) 感染症対策を担う看護職の育成（再掲）</p> <p>(1) 新興感染症・再興感染症について学ぼう</p> <p>(2) 地域で生活を支える看護職のための感染管理～高齢者施設・訪問看護の場で活かす感染管理～</p> <p>7. 事業継続計画（BCP）の検討 重点事業 4-3</p>	<p>5. 災害支援対策事業</p> <p>1) 災害支援ネットワークの強化</p> <p>(1) 災害時における関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、関係団体等 <p>(2) 平常時における連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内施設、日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練等 ・九都県市合同防災訓練千葉県会場への参加 日時：9/2 9：00～14：00 場所：川村学園女子大学グラウンド（我孫子市） 災害支援ナース 6 名参加 <p>2) 災害に備えた支援体制の整備</p> <p>(1) 災害支援ナースの登録促進</p> <p>(2) 災害支援ナースの登録・管理 会員施設 625、個人会員 23 名へ仕組み変更リーフレットの送付</p> <p>(3) 天災危険担保特約付国内旅行傷害保険包括契約 7/1 済</p> <p>(4) 災害時の災害支援ナースの派遣調整 「令和 6 年能登半島地震」への災害支援ナース派遣調整 石川県内 3 避難所へ 36 名派遣 穴水町さわやか交流館ブルート 1/12～1/30 20 名 輪島市ふれあい健康センター 1/24～1/30 4 名 いしかわ総合スポーツセンター 1/30～2/14 12 名 報告会 3/6 災害支援ナース派遣に係る報告会 27 名 支援活動詳細及び災害支援ナース活動報告を「看護ちば 149 号」、県民向け情報誌「げんき vol.1」に掲載し広報を行った。</p> <p>(5) 災害時必要物品の管理 1 回（確認済）</p> <p>3) 災害支援ナースの育成</p> <p>(1) 「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎的知識」</p> <p>(2) 「災害医療と看護（実践編）」</p> <p>(3) 災害支援ナース更新・再登録要件講習会（開催無し）</p> <p>4) 災害対策委員会 9/6、11/8、1/10、3/13</p> <p>6. 感染症対策事業</p> <p>1) 支援体制の整備</p> <p>(1) 感染症対策委員会の開催 5/25 7/27 9/28 10/19 11/16 2/15</p> <p>(2) 感染症対策出向支援 9/11 9/14 10/4 11/9 実施施設：4 施設 参加者 42 名</p> <p>2) 感染症対策を担う看護職の育成（再掲）</p> <p>(1) 新興感染症・再興感染症について学ぼう（生涯教育研修別表参照）</p> <p>(2) 地域で生活を支える看護職のための感染管理（生涯教育研修別表参照） ～高齢者施設・訪問看護の場で活かす感染管理～</p> <p>7. 事業継続計画（BCP）の検討</p> <p>在宅医療機関における BCP（事業継続計画）策定支援研修の受講 12/9 1/20 2/17 3 名</p>

V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業

【目的】看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。

事業計画	実績
<p>1. 職能委員会（職能）</p> <p>1) 保健師職能委員会 6回</p> <p>2) 助産師職能委員会 6回</p> <p>3) 看護師職能委員会(領域Ⅰ) 6回</p> <p>4) 看護師職能委員会(領域Ⅱ) 6回</p> <p>2. 職能集会・交流会(職能)</p> <p>1) 職能集会</p> <p>・開催日 令和5年6月22日(木)</p> <p>・場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>(1) 保健師職能集会 1回</p> <p>(2) 助産師職能集会 1回</p> <p>(3) 看護師職能集会(領域Ⅰ) 1回</p> <p>(4) 看護師職能集会(領域Ⅱ) 1回</p> <p>2) 各職能別交流会</p> <p>(1) 保健師職能交流会 1回</p> <p>(2) 助産師職能交流会(管理者、中堅) 各1回</p> <p>(3) 看護師職能交流会(領域Ⅰ) 1回</p> <p>(4) 看護師職能交流会(領域Ⅱ) 1回</p> <p>(5) 准看護師交流会 1回</p> <p>3. 4職能委員長会 3回 重点事業 5-2</p> <p>4. 県行政等への要望・意見具申(看護制度) 重点事業 1-5-2</p> <p>1) 県の令和6年度予算等に関する要望書の提出</p> <p>2) 県議会等の活動への協力依頼等</p> <p>3) 千葉県医療審議会等への参画</p> <p>4) 協定締結等による役割の明確化と連携強化 重点事業 4-1-1 4-2-1</p> <p>5. 看護関連施策に対する提言(看護制度)</p> <p>1) 国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>2) 資格認定制度の推進</p> <p>(1) 専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 重点事業 2-3</p> <p>(2) 特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進 重点事業 2-4</p>	<p>1. 職能委員会（職能）</p> <p>1) 保健師職能委員会 8/10 10/13 11/13 12/13 1/11 3/18</p> <p>2) 助産師職能委員会 8/25 9/22 10/18 12/21 1/25 2/15</p> <p>3) 看護師職能委員会(領域Ⅰ) 8/3 9/2 10/16(臨時) 11/10 12/22 1/22 2/13</p> <p>4) 看護師職能委員会(領域Ⅱ) 8/10 9/14 10/12 11/9 12/7 2/8</p> <p>2. 職能集会・交流会（職能）</p> <p>1) 職能集会</p> <p>・開催日 令和5年6月22日(木)</p> <p>・場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>(1) 保健師職能集会 (参加者 32名)</p> <p>(2) (3) 看護師(領域Ⅰ)・助産師 合同職能集会 (参加者 149名)</p> <p>(4) 看護師職能集会(領域Ⅱ) (参加者 36名)</p> <p>2) 各職能別交流会</p> <p>(1) 保健師職能交流会 1/11 (Web)</p> <p>(2) 助産師職能交流会(管理者、中堅) 12/21 1/25</p> <p>(3) 看護師職能交流会(領域Ⅰ) 12/22</p> <p>(4) 看護師職能交流会(領域Ⅱ) 10/12</p> <p>(5) 准看護師交流会 2/13</p> <p>3. 4職能委員長会 10/11</p> <p>・4職能委員会合同会議 11/10 1/15</p> <p>4. 県行政等への要望・意見具申(看護制度)</p> <p>1) 県の令和6年度予算等に関する要望書の提出 8/2</p> <p>2) 県議会等の活動への協力依頼等 8/10 9/26</p> <p>3) 千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議：154回 関係団体等会議：95回</p> <p>4) 協定締結等による役割の明確化と連携強化</p> <p>5. 看護関連施策に対する提言(看護制度)</p> <p>1) 国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>2) 資格認定制度の推進</p>

VI 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

【目的】在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。

事業計画	実 績																																									
1. 訪問看護事業	1. 訪問看護事業（訪問看護師常勤換算 現在 7.5 人）																																									
1) 質の高い訪問看護の提供	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">令和 5 年度</th> <th style="text-align: center;">令和 4 年度</th> <th style="text-align: center;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">1) 質の高い訪問看護の提供</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用者数延（名）</td> <td style="text-align: center;">870</td> <td style="text-align: center;">936</td> <td style="text-align: center;">△66</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">内訳</td> <td>介護保険利用者</td> <td style="text-align: center;">503</td> <td style="text-align: center;">574</td> <td style="text-align: center;">△71</td> </tr> <tr> <td>医療保険利用者</td> <td style="text-align: center;">367</td> <td style="text-align: center;">362</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">訪問回数（回）</td> <td style="text-align: center;">4,930</td> <td style="text-align: center;">5,211</td> <td style="text-align: center;">△281</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">内訳</td> <td>介護保険利用者</td> <td style="text-align: center;">2,149</td> <td style="text-align: center;">2,544</td> <td style="text-align: center;">△395</td> </tr> <tr> <td>医療保険利用者</td> <td style="text-align: center;">2,781</td> <td style="text-align: center;">2,667</td> <td style="text-align: center;">114</td> </tr> </tbody> </table>						令和 5 年度	令和 4 年度	増減	1) 質の高い訪問看護の提供					利用者数延（名）		870	936	△66	内訳	介護保険利用者	503	574	△71	医療保険利用者	367	362	5	訪問回数（回）		4,930	5,211	△281	内訳	介護保険利用者	2,149	2,544	△395	医療保険利用者	2,781	2,667	114
		令和 5 年度	令和 4 年度	増減																																						
1) 質の高い訪問看護の提供																																										
利用者数延（名）		870	936	△66																																						
内訳	介護保険利用者	503	574	△71																																						
	医療保険利用者	367	362	5																																						
訪問回数（回）		4,930	5,211	△281																																						
内訳	介護保険利用者	2,149	2,544	△395																																						
	医療保険利用者	2,781	2,667	114																																						
2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td colspan="5">2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</td> </tr> <tr> <td colspan="2">在宅での看取り（名）</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">△2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人工呼吸器装着患者（名）</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小児（名）</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">△1</td> </tr> </tbody> </table>				2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援					在宅での看取り（名）		12	14	△2	人工呼吸器装着患者（名）		5	5	0	小児（名）		3	4	△1																		
2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援																																										
在宅での看取り（名）		12	14	△2																																						
人工呼吸器装着患者（名）		5	5	0																																						
小児（名）		3	4	△1																																						
3) 24 時間、緊急時の訪問看護の提供	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td colspan="5">3) 24 時間、緊急時の訪問看護の提供</td> </tr> <tr> <td colspan="2">緊急訪問延（回）</td> <td style="text-align: center;">237</td> <td style="text-align: center;">257</td> <td style="text-align: center;">△20</td> </tr> <tr> <td colspan="2">休日緊急訪問延（回）</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">85</td> <td style="text-align: center;">△15</td> </tr> </tbody> </table>				3) 24 時間、緊急時の訪問看護の提供					緊急訪問延（回）		237	257	△20	休日緊急訪問延（回）		70	85	△15																							
3) 24 時間、緊急時の訪問看護の提供																																										
緊急訪問延（回）		237	257	△20																																						
休日緊急訪問延（回）		70	85	△15																																						
2. 居宅介護支援事業	2. 居宅介護支援事業 (ケアマネジャー常勤換算 現在 1.0 人)																																									
1) ケアプランの提供	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">令和 5 年度</th> <th style="text-align: center;">令和 4 年度</th> <th style="text-align: center;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">1) ケアプランの提供</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ケアプラン作成（件）</td> <td style="text-align: center;">389</td> <td style="text-align: center;">407</td> <td style="text-align: center;">△18</td> </tr> </tbody> </table>						令和 5 年度	令和 4 年度	増減	1) ケアプランの提供					ケアプラン作成（件）		389	407	△18																							
		令和 5 年度	令和 4 年度	増減																																						
1) ケアプランの提供																																										
ケアプラン作成（件）		389	407	△18																																						
2) 地域のネットワークづくり	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td colspan="5">2) 地域のネットワークづくり（居宅サービス事業者との連携）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">担当者会議（回）</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">△7</td> </tr> </tbody> </table>				2) 地域のネットワークづくり（居宅サービス事業者との連携）					担当者会議（回）		37	44	△7																												
2) 地域のネットワークづくり（居宅サービス事業者との連携）																																										
担当者会議（回）		37	44	△7																																						
3) 利用者の申請代行	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td colspan="5">3) 利用者支援（介護認定支援業務）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用者の申請代行（件）</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">54</td> <td style="text-align: center;">△14</td> </tr> </tbody> </table>				3) 利用者支援（介護認定支援業務）					利用者の申請代行（件）		40	54	△14																												
3) 利用者支援（介護認定支援業務）																																										
利用者の申請代行（件）		40	54	△14																																						
3. 訪問看護の普及	3. 訪問看護の普及																																									
1) 訪問看護研修生の受入れ	1) 訪問看護研修生の受入れ：1 名 1 施設																																									
2) 看護学生実習の受入れ	2) 看護学生実習の受入れ：34 名 7 校、延 68 日間																																									
4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備	4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備																																									
1) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援	1) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 ALS 利用者 1 名が 4 月に呼吸器を導入した。家族への支援を計画し、複数の介護事業所に対して呼吸器等吸引研修を実施。																																									
2) ちば訪問看護ステーション定例会議 毎月	2) ちば訪問看護ステーション定例会議 10 回 4/18 5/16 6/25 7/11 9/13 10/17 11/21 12/19 1/16 3/19																																									
3) ちば訪問看護ステーション運営会議 2 回	3) ちば訪問看護ステーション運営会議 3 回 4/18 7/11 3/14（2 月分書面報告）																																									
5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携	5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携																																									
1) 医療機関、介護支援専門員等との連携	1) 医療機関、介護支援専門員等との連携																																									
(1) 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加	(1) 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 13 回 4/12 6/16 6/16 7/7 7/14 8/29 9/14 10/2 10/20 11/29 12/15 1/12 2/1																																									
2) 利用者確保のための広報活動	2) 利用者確保のための広報活動																																									
6. 職員の資質の向上	6. 職員の資質の向上																																									
1) 事例検討ミーティング	1) 事例検討ミーティング 7 回 4/18 5/16 6/25 7/11 9/13 11/21 1/16																																									
2) 研修会・学会等への参加	2) 研修会・学会等への参加 千葉県看護協会研修 7 名、日本訪問看護財団研修 2 名																																									
3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加	3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加 6/16 8/29																																									
4) 訪問看護師クリニカルリーダーの活用	4) 訪問看護師クリニカルリーダーの活用 クリニカルリーダーを運用と研修計画の立案																																									

事業計画	実績															
<p>7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1) 看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取り組み</p> <p>2) 職員が働きやすく、魅力ある職場づくり</p> <p>3) 経営の安定化</p> <p>4) 看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 1回</p>	<p>7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1) 看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的・基幹的な取り組み 千葉県認知症初期集中支援推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年</th> <th>令和4年</th> <th>令和3年</th> <th>令和2年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例数(名)</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>訪問延件数(件)</td> <td>19</td> <td>14</td> <td>22</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 職員が働きやすく、魅力ある職場づくり スタッフが自主的にステーション運営のための活動を実施し運営会議で進捗を報告。①BCPの作成、②業務改善(学生オリエンテーションの効率化運用、緊急対応の役割分担、有休取得推進等)。</p> <p>3) 経営の安定化 看護師1人1日当たり訪問回数3.0件(前年3.6件:目標訪問回数3.4件以上)</p> <p>4) 看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 3/21</p>	年度	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	症例数(名)	4	3	6	5	訪問延件数(件)	19	14	22	64
年度	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年												
症例数(名)	4	3	6	5												
訪問延件数(件)	19	14	22	64												

VII その他この法人が目的を達成するために必要な事業

【目的】

1. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。
2. 情報提供及び広報を行う。
3. 当協会会員に対する相互扶助等の(福利厚生)事業を行う。
4. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。

事業計画	実績
<p>【公益目的事業】</p> <p>1. 地区部会活動事業 重点事業5-2-1</p> <p>【目的】地域において、看護職の資質の向上を図るとともに、医療の担い手として誇りをもち、安心して働き続けられる環境づくりと地域のニーズに応える保健・医療・福祉活動を推進することにより、看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献することを目的とする。</p> <p>1) 具体的な地区部会活動</p> <p>(1) 役員会 5回程度</p> <p>(2) 連絡会 2回</p> <p>(3) 研修会 2回程度</p> <p>(4) まちの保健室の開催(再掲)</p> <p>(5) 「看護の日」「看護週間」事業(再掲)</p> <p>(6) その他、地区特有の事業</p>	<p>1. 地区部会活動事業</p> <p>1) 具体的な地区部会活動</p> <p>(1) 役員会 66回 (千葉4、市原7、船橋6、市川4、松戸6、東葛4、印旛5、利根8、山武7、長夷4、君津5、安房6)</p> <p>(2) 連絡会 23回 (千葉2、市原2、船橋2、市川2、松戸2、東葛2、印旛2、利根2、山武2、長夷2、君津2、安房1)</p> <p>(3) 研修会 20回 (千葉2、市原1、船橋2、市川1、松戸2、東葛1、印旛2、利根2、山武2、長夷2、君津2、安房1)</p> <p>(4) まちの保健室の開催(再掲)</p> <p>(5) 「看護の日」「看護週間」事業(再掲)</p> <p>(6) その他、地区特有の事業 令和5年度会計担当者会議の開催 6/2 (12地区の会計担当者に会計報告書類作成等の説明)</p> <p>地区活動の活性化等に係るモデル事業</p> <p>利根地区 選定理由 東日本大震災の被災地のひとつであり、防災意識の高い地域基盤がある 災害対策研修 9/15 参加者 30名 地区部会の感想 地区として継続して「横のつながりのある」災害時の連携について話し合える場を作れるよう努力したい。</p> <p>山武地区 選定理由 役員会等の活動が活発で、看護の専門的スキルを活用した情報発信等、新たな取り組みのモデルとなる基盤がある まちの保健室 11/11 参加者 105名</p>

事業計画	実績
<p>2) 地区部会長会の開催 2回</p> <p>3) 地域連携強化と多職種連携会議への参画 重点事業 3-2</p> <p>2. 情報提供、広報事業</p> <p>1) 千葉県看護協会の広報</p> <p>(1) 機関誌「看護ちば」の発行 5回 (定期4、号外1)</p> <p>(2) ホームページの充実</p> <p>(3) 協会パンフレット等の活用</p> <p>(4) SNSによる情報発信の検討</p> <p>(5) 県民に向けた広報誌等の発行</p> <p>2) 広報委員会の開催 6回</p>	<p>地区部会の感想 参加者の半数は想定した対象年齢層で、参加者からは自分の健康への意識が高まったとの声が聞かれ、今後も地域で身近に相談できる場所として、「まちの保健室」活動を続けていきたい。</p> <p>2) 地区部会長会の開催 7/25 1/16</p> <p>3) 地域連携強化と多職種連携会議への参画 他職種連携会議への参画 91回</p> <p>2. 情報提供、広報事業</p> <p>1) 千葉県看護協会の広報</p> <p>(1) 機関誌「看護ちば」の発行 (145号 号外 146号 147号 148号)</p> <p>(2) ホームページの充実 アクセス数 392,881件 (前年比 96.4%) 更新 301回</p> <p>(3) 協会パンフレット等の活用</p> <p>(4) SNSによる情報発信の検討</p> <p>(5) 県民に向けた広報誌等の発行 2024年度創刊に向け検討・準備</p> <p>2) 広報委員会の開催 7/14 8/31 9/29 11/29 1/29 2/22</p>
<p>【収益事業】</p> <p>1. 販売手数料及び出展広告に関する事業</p> <p>1) 看護関連図書の紹介</p> <p>2) 出展広告掲載業者の募集</p> <p>3) 会員管理受託業務及び代議員選出受託業務 (日本看護協会)</p> <p>2. 会員サービス・福祉の充実等</p> <p>1) 会員への相談支援、情報提供</p> <p>2) 看護職の表彰</p> <p>3) 慶弔見舞金等の給付</p> <p>4) 災害時の支援(再掲)</p> <p>5) 会員福利厚生サービスの実施・広報</p>	<p>【収益事業】</p> <p>1. 販売手数料及び出展広告に関する事業</p> <p>1) 看護関連図書の紹介</p> <p>2) 出展広告掲載業者の募集</p> <p>3) 会員管理受託業務及び代議員選出受託業務 (日本看護協会)</p> <p>2. 会員サービス・福祉の充実等</p> <p>1) 会員への相談支援、情報提供</p> <p>2) 看護職の表彰</p> <p>千葉県看護協会会長表彰 294名</p> <p>春の叙勲 3名 (瑞宝双光章 2名 瑞宝単光章 1名)</p> <p>秋の叙勲 3名 (瑞宝双光章 1名、瑞宝単光章 2名)</p> <p>日本看護協会会長表彰 5名</p> <p>3) 慶弔見舞金等の給付</p> <p>弔慰金 8件</p> <p>災害見舞金 4件</p> <p>4) 災害時の支援(再掲)</p> <p>5) 会員福利厚生サービスの実施・広報</p> <p>(1) クラブオフ、アフラック (団体保険)、各種割引等</p> <p>(2) 看護ちばへの掲載 (145号 146号 147号 148号)</p>
<p>【法人会計】</p> <p>1. 組織運営に関する会議等の開催</p> <p>1) 定時総会</p> <p>・開催日 令和5年6月22日(木)</p> <p>・場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>2) 理事会 6回</p> <p>3) 監事監査 2回</p> <p>4) 施設等会員代表者会 2回</p> <p>5) 地区部会長会 (再掲) 2回</p> <p>6) 保助看護職能委員会 (再掲) 6回</p> <p>7) 推薦委員会 6回</p>	<p>【法人会計】</p> <p>1. 組織運営に関する会議等の開催</p> <p>1) 定時総会</p> <p>開催日 令和5年6月22日(木)</p> <p>場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>出席者 229名 委任状 18,621名</p> <p>審議事項</p> <p>第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について</p> <p>第2号議案 令和5年度改選役員及び推薦委員の選任について</p> <p>第3号議案 令和5年度会員以外の者からの監事の選任について</p> <p>第4号議案 定款変更について</p> <p>第5号議案 2024年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について</p> <p>2) 理事会 5/18 6/22 7/13 10/12 12/7 2/19 (決議の省略) 3/7</p> <p>3) 監事監査 5/9 11/15</p> <p>4) 施設等会員代表者会 7/19 1/30</p> <p>5) 地区部会長会 (再掲)</p> <p>6) 保助看護職能委員会 (再掲)</p> <p>7) 推薦委員会 9/11 10/11 11/16 1/24 3/13</p>

事業計画	実 績
<p>8) 常任委員会（再掲） 6回 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会 感染症対策委員会</p> <p>9) 特別委員会 ナースセンター運営委員会（再掲） 認定看護管理制度教育課程運営委員会（再掲） 看護職定着・確保対策協議会（再掲） 看護会館再整備検討委員会（仮称）（再掲）</p> <p>10) 関係団体との連携会議（千葉県看護連盟等）</p>	<p>8) 常任委員会（再掲） 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会 感染症対策委員会</p> <p>9) 特別委員会 ナースセンター運営委員会（再掲） 認定看護管理制度教育課程運営委員会（再掲） 看護職定着・確保対策協議会（再掲）</p> <p>10) 関係団体との連携会議（千葉県看護連盟等） (1) 千葉県看護連盟 ①合同役員会 10/3 ②合同研修会 3/9</p>
<p>2. 会員増の促進 重点事業 5-1</p> <p>1) 新規・再入会の促進</p> <p>(1) 新規入会者への特典の充実</p> <p>(2) 施設訪問</p> <p>2) 継続会員への勧奨</p> <p>3) 千葉県内看護師等学校養成所卒業生に向けた協会案内 (1) 看護学生の表彰 (2) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (3) 協会の機能と役割に係る特別講話</p> <p>4) 会員増促進委員会の開催 6回</p>	<p>2. 会員増の促進</p> <p>1) 新規・再入会の促進 会員数 28,214名（うち新規入会 2,079名） 入会率 45.5% （前年同月比 540名減、うち新規入会者数は 124名）</p> <p>会員減少施設看護管理者への聞き取り ・入会の必要性を理解してもらえない ・複数回入会を勧めると、ハラスメントと言われる ・入会は任意だからと断られる ・親から苦情を言われる ・新任期の研修が終わると退会する ・退会者の多い入職 3～4年目職員への継続の働きかけをしていなかった ・師長会などで入会を勧めるが結局入会しない</p> <p>(1) 新規入会者への特典の充実 学研ビジュアルナーシングメソッドの提供（新規入会者向け） 29名 申込者数 41名（対象外 12名のうち 8名は継続会員） 会員からの要望・意見 ・新規入会者だけでなく再就業者も対象としてほしい ・新規入会後の利用申込みでは半年程度しか利用できない ・新卒の看護職は自施設の業務でいっぱいので 1年目に自分の時間を使って学習するのは難しい</p> <p>(2) 施設訪問 保健所 3箇所</p> <p>2) 継続会員への勧奨 入会後のご案内「入会されたあなたへ～information～」等の送付 2,079名 施設等会員代表者会での周知</p> <p>3) 千葉県内看護師等学校養成所卒業生に向けた協会案内 (1) 看護学生の表彰 対象：34校、35名 (2) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 対象：令和 5年度卒業生 42校、2,727名 (3) 協会の機能と役割に係る特別講話 対象：16校（大学 4校・専門学校 12校）</p> <p>4) 会員増促進委員会の開催 8/16 9/29 10/18 11/15 1/24 2/21</p>

事業計画	実績
<p>3. 公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等）</p> <p>1) 令和6年度事業計画・収支予算等の提出</p> <p>2) 令和4年度定期報告（事業報告・決算報告等）</p> <p>3) 役員等の変更登記及び届出</p> <p>4. 日本看護協会との連携</p> <p>1) 通常総会</p> <p>2) 法人会員会・理事会</p> <p>3) 地区別法人会員会</p> <p>4) 全国職能委員長会</p> <p>5) その他関連会議等</p> <p>5. 行政等との連携 重点事業 3-2</p> <p>1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画</p> <p>2) 関係団体との連携</p> <p>6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <p>1) 担当業務に係る外部研修等の受講</p> <p>2) 集合研修の実施</p> <p>3) 健康診断およびインフルエンザ等予防接種</p> <p>4) 有給休暇の取得促進</p> <p>7. 協会資産の管理</p> <p>1) 看護会館等の管理</p> <p>(1) 看護会館の管理</p> <p>① 全等</p> <p>② 環境整備</p> <p>(2) 協会物品の管理</p> <p>① 固定資産台帳の管理</p> <p>② 物品台帳の管理</p> <p>(3) 公用車の管理</p>	<p>3. 公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等）</p> <p>1) 令和6年度事業計画・収支予算等の提出 3/29</p> <p>2) 令和4年度定期報告（事業報告・決算報告等）6/29</p> <p>3) 定款変更及び役員の改選等に伴う変更登記 9/19</p> <p>4. 日本看護協会との連携</p> <p>1) 通常総会 6/7 代議員 28名 全国職能交流集会 6/8</p> <p>2) 法人会員会・理事会 法人会員会 5/17 7/21 9/22 11/22 2/22 理事会 5/17 6/7 7/20・21 9/22 11/21・22 2/21・22</p> <p>3) 地区別法人会員会 10/26・27</p> <p>4) 全国職能委員長会 7/28 3/3 地区別職能委員長会 10/27</p> <p>5) その他関連会議等</p> <p>5. 行政等との連携</p> <p>1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画（再掲）</p> <p>2) 関係団体との連携 行事等への後援等 31件</p> <p>6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <p>1) 担当業務に係る外部研修等の受講</p> <p>職業紹介責任者研修 4/26 2名 2/29 1名 看護研究基礎編①～④ 5/26 6/2 8/7・8 9/1 1名 スタッフ・利用者のいのちと暮らしを守るBCP 6/17 1名 難病勉強会 6/21 7/5・12・19・26 1名 労務管理入門～働きやすい職場環境づくりの基礎知識～ 7/5 1名 地域で暮らす認知症療養者のための多職種連携 7/22 1名 日本看護管理学会 8/25・26 1名 ゲートキーパー養成研修 10/14 1名 社会人のための接遇&マナー研修 10/25 1名 学研メディカルサポートオンライン情報交換会 11/2 2名 医中誌 Web エンドユーザー向けミニレクチャー 11/8・9・10 1名 2023年度 過重労働解消のためのセミナー 11/14 12/11 3名 普通救命講習 I 11/17 1名 在宅医療関連調査・講師人材養成事業 12/5～2/5 1名 日本看護サミット2023 12/14 5名 医療事故調査制度支援団体統括者セミナー 3/16 1名 令和6年度診療報酬・介護報酬の同時改定セミナー 3/24 1名</p> <p>2) 集合研修の実施</p> <p>公益法人制度に関する研修 10/12 31名 2023年度政策力育成のための都道府県看護協会職員研修 3/18 25名</p> <p>3) 健康診断およびインフルエンザ予防接種</p> <p>4) 有給休暇の取得促進</p> <p>7. 協会資産の管理</p> <p>1) 看護会館等の管理</p> <p>(1) 看護会館の管理</p> <p>① 保全等</p> <p>② 環境整備</p> <p>(2) 協会物品の管理</p> <p>① 固定資産台帳の管理</p> <p>② 物品台帳の管理</p> <p>(3) 公用車の管理 訪問看護ステーション公用車 11台</p>

事業計画	実 績
<p>2) 情報資産の管理・活用</p> <p>(1) 情報資産の管理</p> <p>① 情報セキュリティの確保</p> <p>② 個人情報関連業務の標準化</p> <p>(2) 情報資産の活用</p> <p>① グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</p> <p>② 研修管理システムの管理・運用</p> <p>③ 看護管理者メーリングリストの活用</p> <p>3) 看護会館の再整備</p> <p>(1) 看護会館再整備検討委員会（仮称）の設置</p> <p>(2) 整備方針検討のための調査の実施</p>	<p>2) 情報資産の管理・活用</p> <p>(1) 情報資産の管理</p> <p>① 情報セキュリティの確保</p> <p>② 個人情報関連業務の標準化</p> <p>(2) 情報資産の活用</p> <p>① グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</p> <p>② 研修管理システムの管理・運用</p> <p> 研修用ハイブリットカメラ設置 7/28</p> <p>③ 看護管理者メーリングリストの活用</p> <p>3) 看護会館の再整備</p>

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育(17研修中17研修実施)							
ケアする力	I～V	001	【新規】新興感染症・再興感染症について学ぼう	ライブ	100	51	51.0
	I～V	002	多職種連携による入退院支援(公開研修 訪問看護師養成講習会と合同)	ライブ	80	73	91.3
	II～V	003	臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識	ライブ	100	23	23.0
	II～V	004	【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【認知症ケア加算対応】	対面	50	92	184.0
	II～V	005	【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【認知症ケア加算対応】	対面	50	93	186.0
	II～V	006	【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【認知症ケア加算対応】	対面	50	84	168.0
	III～V	007	認知症対応力 スキルアップ研修	対面	50	28	56.0
	II～V	008	★☆認知症対応力向上研修【認知症ケア加算対応】	ライブ/対面	160	128	80.0
	I	009	准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全 ～転倒転落を防ぐケア～	ライブ	20	6	30.0
	I	010	准看護師のためのスキルアップ研修 ～誤嚥を予防する食事介助と口腔ケア～	対面	20	5	25.0
協働する力	II～V	011	医療から在宅につなぎ支える看護	ライブ	100	68	68.0
	II～V	012	小児虐待の芽をつむ多職種連携	ライブ	50	24	48.0
	III～V	013	高齢者を支える看護と高齢者虐待予防	ライブ	100	19	19.0
	II～V	014	地域で生活を支える看護職のための感染管理 ～高齢者施設・訪問看護の場で活かす感染管理～	ライブ	100	21	21.0
	II～V M-I IV	015	ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場) ～私にできること～	ライブ	100	26	26.0
	II～V M-I IV	016	【新規】看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践	ライブ	100	13	13.0
	III～V	017	【JNAインターネット配信[オンデマンド]研修】医療安全管理者養成研修会【医療安全対策加算対応】	対面	100	111	111.0
分類1小計					1,330	865	65.0
分類2 ラダーと連携した継続教育(76研修中71研修実施・5研修中止)							
ニーズをとらえる力	II～IV	018	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 循環・意識障害	ライブ	100	84	84.0
	II～IV	019	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 呼吸・腹部症状	ライブ	100	79	79.0
	II～IV	020	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 骨筋・神経	ライブ	100	58	58.0
	II～IV	021	小児のフィジカルアセスメント	ライブ	50	33	66.0
	III～IV	022	基礎から学ぶ臨床推論 ～看護の臨床判断能力を高めるスキル～	ライブ	100	67	67.0
ケアする力	I～V	023	【JNA収録DVD研修】 災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	対面	—	中止	—
	I～V	024	【JNA収録DVD研修】 災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	対面	—	中止	—
	III～V	025	災害医療と看護(実践編)	ライブ	(100)	中止	—
	III～V	026	災害支援ナース更新・再登録要件 講習会	ライブ	(70)	中止	—
	II～V	027	糖尿病合併症の重症化予防と看護	ライブ	100	53	53.0
	II～V	028	急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本 ースキンケアの基礎知識と褥瘡予防ケアー	ライブ	100	115	115.0
	II～V	029	食べたいをかなえる！経口摂取ケアのポイント	対面	50	55	110.0
	II～V	030	地域における看取りを考える ～在宅・介護施設における看取り～	ライブ	100	39	39.0
	II～V	031	がん医療の最新知識と患者・家族の療養支援	ライブ	100	47	47.0
	II～III	032	周手術期の看護 ～麻酔の機序と術後ケア～	ライブ	100	59	59.0
	A1～3	033	地域保健を効果的に進めるための保健師研修 ～保健活動に活かす感染症対策の基本～	対面	20	6	30.0
	II～V C-II III	034	周産期のメンタルヘルスケア	ライブ	30	13	43.3

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
協働する力	I～II	035	医療安全Ⅰ ～危険予知トレーニングKYT～	対面	50	60	120.0
	II～V	036	医療安全Ⅱ ～チームステップス～	対面	50	46	92.0
	II～V	037	医療安全Ⅲ ～医療事故事例を法律から見てみる・看護記録～	ライブ	100	58	58.0
	II～III	038	リーダーを始める人のためのコーチング	ライブ	100	87	87.0
	III～V	039	よりよい人間関係を築くためのアサーション	ライブ	100	83	83.0
	III～V	040	リーダーシップ研修 ～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～	ライブ	100	86	86.0
	I～V	041	アンガーマネジメントのコツを知ってストレス対策	ライブ	100	55	55.0
	I～V	042	【新規】成長を支えるためのレジリエンス(回復力)とセルフ・コンパッション(自分を思いやる力)	ライブ	100	48	48.0
	I～V	043	ハラスメントのない職場環境を目指して	ライブ	100	50	50.0
	I～V	044	LGBTQの理解	ライブ	100	24	24.0
意思決定を支える力	III～V	045	看護実践における看護倫理	ライブ	100	55	55.0
	III～V	046	その人らしい生き方を支える意思決定への支援 ～倫理綱領や事例検討から学ぶ～	対面	60	48	80.0
	III～V	047	アドバンス・ケア・プランニング(ACP)を学ぼう	ライブ	100	96	96.0
共通	048～055		フレッシュセミナー(春・秋)	ライブ	各200 1,600	841	52.6
	056		フレッシュセミナー(秋)	ライブ	200	16	8.0
	057		★新人看護職員研修(実習有)	ライブ/対面	15	2	13.3
	058		★新人看護職員研修 ～情報管理・感染管理～	ライブ	35	7	20.0
	059		★新人看護職員研修 ～摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度～	ライブ	35	20	57.1
	060		★新人看護職員研修 ～フィジカルアセスメント～	ライブ	35	16	45.7
	061		★新人看護職員研修 ～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	35	11	31.4
	062		★新人看護職員研修 ～心電図・心肺蘇生法(BLS)～	ライブ	35	22	62.9
	063		★新人看護職員研修 ～スキンケア～	ライブ	35	14	40.0
	064		★新人看護職員研修 ～物品管理と経済効果・死後のケア～	ライブ	35	8	22.9
	065		★新人看護職員研修 ～コミュニケーションの技法・災害対策～	ライブ	35	10	28.6
	066		★新人助産師研修(実習有)	ライブ/対面	10	中止	—
	067		★新人助産師研修 ～産科医療補償制度・産科ガイドライン・CTG判読～	ライブ	20	11	55.0
	068		★新人助産師研修 ～ハイリスク妊産婦ケア～	ライブ	20	9	45.0
	069		★新人助産師研修 ～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	20	4	20.0
	070		★新人助産師研修 ～新生児のフィジカルアセスメントとケア～	ライブ	20	9	45.0
	071		★新人助産師研修 ～妊娠糖尿病妊産婦へのケア～	ライブ	20	11	55.0
	072		★新人助産師研修 ～産科救急・助産ケアの実際～	ライブ	20	12	60.0
	073		★新人助産師研修 ～母乳育児～	ライブ	20	11	55.0
	074		★新人助産師研修 ～家族への支援・看護実践のリフレクション～	ライブ	20	13	65.0

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
共通	I～II	075 ～ 082	2年目看護師として自己の成長をみつめて	ライブ	1,600	438	27.4
	II～III	083	★実地指導者研修	対面	50	54	108.0
		084	★実地指導者研修	対面	50	58	116.0
	II～V	085	看護研究 基礎編① 基礎編② 基礎編③ 基礎編④	対面	40	51	127.5
	II～V	086	看護研究 基礎編①(No.85の聴講参加) ～研究テーマの決定と文献検索～	対面	10	6	60.0
	II～V	087	看護研究 基礎編②(No.85の聴講参加) ～研究計画書をつくる～	対面	10	8	80.0
	II～V	088	看護研究 基礎編③(No.85の聴講参加) ～データ収集と分析(質・量)～	対面	10	12	120.0
	II～V	089	看護研究 基礎編④(No.85の聴講参加) ～発表・論文作成～	対面	10	14	140.0
	IV～V	090	看護研究 指導編 ～研究の指導をするためのスキル～	ライブ/対面	40	12	30.0
	II～V	091	レポートや小論文の記述力を高めるために	対面	50	18	36.0
	II～V	092	プレゼンテーションスキルを磨こう!	対面	50	25	50.0
II～V	093	自己の成長を促すナラティブ・アプローチ	対面	50	22	44.0	
分類2小計					6,445	3,269	50.7
分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育(9研修中9研修実施)							
共通	II～V	094	看護管理者ビギナー研修 ～主任の役割と看護管理～	対面	50	89	178.0
	M-II～IV	095	看護管理者研修	対面	50	67	134.0
	M-I～IV	096	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 JNA e-ラーニング活用【診療報酬加算対応】	eラン/対面	50	32	64.0
		097	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 JNA e-ラーニング活用【診療報酬加算対応】	eラン/ライブ	50	43	86.0
		098	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 JNA e-ラーニング活用【診療報酬加算対応】	eラン/対面	50	38	76.0
		099	メンタルヘルス不調のラインケア～看護管理者の役割～	ライブ	100	24	24.0
		100	【公開講座】認定看護管理者教育課程ファーストレベル 特別講演	対面	20	4	20.0
	101	【公開講座】認定看護管理者教育課程ファーストレベル 特別講演	対面	20	1	5.0	
102	【公開講座】認定看護管理者教育課程セカンドレベル フォローアップ研修 特別講演	対面	20	1	5.0		
分類3小計					410	299	72.9
分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実にに向けた継続教育(3研修中3研修実施)							
共通	III～IV	103	★教育担当者研修	対面	50	33	66.0
	III～IV	104	人を育てる臨地実習	ライブ	50	46	92.0
	III～IV	105	人を育てる臨地実習	対面	50	49	98.0
分類4小計					150	128	85.3
分類5 資格認定教育(6研修中6研修実施)							
共通	I～V	106	訪問看護師養成講習会	eラン 講義実習	20	7	35.0
	III～IV	107	★喀痰吸引等指導者養成講習会	対面	30	27	90.0
	III～IV	108	★令和5年度千葉県看護教員養成講習会	eラン/対面	40	13	32.5
マネジメント	M-I	109	第43回認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	対面	45	56	124.4
	M-I	110	第44回認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	対面	45	51	113.3
	M-I～II	111	第22回認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	対面	40	34	85.0
分類5小計					220	188	85.5
追加研修(分類2:2研修実施 分類1:3研修実施)							
すける力	/	114	【新規】災害支援ナース養成研修	対面	100	55	55.0
		115	【新規】災害支援ナース養成研修	対面	100	105	105.0
追加分類2小計					200	160	80.0

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
協働する力	Ⅲ～Ⅴ	116	★医療的ケア児等在宅移行支援研修 基礎編	ライブ/対面	15	9	60.0
		117	★医療的ケア児等在宅移行支援研修 応用編	ライブ/対面	15	8	53.3
	Ⅰ～Ⅴ	118	【新規】外来における在宅療養支援能力向上のための研修 JNA eラーニング活用	対面	70	39	55.7
追加分類1小計					100	56	56.0
分類1～分類5合計					8,855	4,965	56.1

令和5年度決算報告

1. 会計基準について

本会の決算書は、「平成20年会計基準」に基づき、以下のとおり作成している。

*「平成20年会計基準」：内閣府公益認定等委員会が定めた公益法人会計基準（平成20年4月11日制定）

1) 会計区分について

本会の会計は、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3つに区分されている。

- (1)「公益目的事業会計」には、定款第4条に規定する7つの事業に係る経費等が計上されている。
- (2)「収益事業等会計」は、収益事業である「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、相互扶助事業である「会員福利厚生等に関する事業」に区分されている。
- (3)「法人会計」には、事業費以外の管理部門経費等が計上されている。

2) 財務3基準について

公益社団法人には、法定要件として次の財務3基準を満たすことが求められる。

- (1) 収支相償の原則（認定法第5条第6号、第14条）
公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えてはならない。
- (2) 公益目的事業比率（認定法第5条第8号、第15条）
公益目的事業の費用が、事業費・管理費の合計額の50%以上でなければならない。
- (3) 遊休財産保有制限（認定法第5条第9号、第16条）
遊休財産額（用途を定めない財産）が保有制限額（1年分の公益目的事業費相当額）を超えてはならない。

*「認定法」：公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号）

2. 令和5年度決算の概要

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が感染症法の「5類感染症」に移行したことに伴い、感染防止対策に留意しつつ、研修、会議、イベント等の開催方法を見直すなどした結果、全体で収益409,015,873円、費用410,795,842円、当期一般正味財産増減額△1,779,969円となった。

なお、主な点は以下のとおりである。

1) 経常収益について（合計409,015,873円）

- (1) 受取会費は168,228,000円で、前年度と比較して3,246,000円の減、また、受取入金金は24,972,000円で、前年度と比較して1,440,000円の減となった。なお、受取会費及び受取入金金については、会費規程に基づき、その50%を公益目的事業会計に計上した。（残額は法人会計に計上）
- (2) 研修会参加料は53,411,497円で、前年度と比較して2,768,936円の増となった。
- (3) 訪問看護・居宅介護事業収益は60,333,481円で、前年度と比較して2,475,431円の減となった。

2) 経常費用について (合計 410,795,842 円)

- (1) 公益目的事業会計の経常費用は 349,333,640 円で、前年度と比較して 6,332,091 円の増となった。
- (2) 収益事業等会計の経常費用は 7,161,837 円で、前年度と比較して 354,735 円の増となった。
- (3) 法人会計の経常費用は 54,300,365 円で、前年度と比較して 822,371 円の減となった。

3) 令和 5 年度決算における財務 3 基準について

(1) 収支相償

① 公益目的事業経常収益 306,106,811 円－公益目的事業経常費用 349,333,640 円
＝公益目的事業経常増減額△43,226,829 円

② △43,226,829 円＋各種調整額合計 2,919,854 円＝△40,306,975 円

→公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えていないため、基準を満たしている。

*各種調整額合計：支出を伴わない費用や、費用計上されない支出などを調整したもの

(2) 公益目的事業比率

公益目的事業経常費用 349,333,640 円÷(経常費用合計 410,795,842 円＋記念事業積立額 500,000 円)
＝84.9% ≥ 50%

→公益目的事業の費用が、事業費・管理費等の合計額の 50%以上であるため、基準を満たしている。

(3) 遊休財産保有制限

① 資産合計 1,127,187,658 円－負債合計 212,064,721 円－(控除対象財産 726,046,584 円－対応負債 106,092,273 円)＝295,168,626 円

② 令和 5 年度末遊休財産額 295,168,626 円 ≤ 保有制限額 349,333,640 円

→遊休財産額が保有上限額を超えていないため、基準を満たしている。

*控除対象財産：公益目的保有財産など目的の定められた財産で、遊休財産の範囲から除かれる財産をいう。

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	410,479,883	413,701,511	△ 3,221,628
未収会費	24,000	0	24,000
未収入金	32,393,908	39,103,485	△ 6,709,577
前払金	0	2,880,000	△ 2,880,000
立替金	0	66,475	△ 66,475
前払費用	844,260	1,278,652	△ 434,392
流動資産合計	443,742,051	457,030,123	△ 13,288,072
2. 固定資産			
1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
2)特定資産			
役員退職慰労引当資産	10,039,724	9,574,514	465,210
退職給付引当資産	47,931,625	40,989,280	6,942,345
看護会館取得資産	486,683,568	461,790,532	24,893,036
記念事業積立資産	500,000	0	500,000
什器備品	2,863,236	4,148,151	△ 1,284,915
ソフトウェア	990,917	1,507,917	△ 517,000
特定資産合計	549,009,070	518,010,394	30,998,676
3)その他固定資産			
建物	90,154,052	93,627,736	△ 3,473,684
構築物	882,015	961,887	△ 79,872
車両運搬具	11	11	0
什器備品	3,057,344	3,386,017	△ 328,673
図書	31,510,222	31,423,325	86,897
リース資産	1,639,440	6,162,480	△ 4,523,040
その他固定資産	5,809,223	10,488,581	△ 4,679,358
電話加入権	1,186,490	1,186,490	0
保証金	105,000	105,000	0
リサイクル預託金	92,740	92,740	0
その他固定資産合計	134,436,537	147,434,267	△ 12,997,730
固定資産合計	683,445,607	665,444,661	18,000,946
資産合計	1,127,187,658	1,122,474,784	4,712,874
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,584,269	932,572	3,651,697
リース債務	1,776,060	6,299,100	△ 4,523,040
前受金	600,000	540,000	60,000
前受会費	139,914,000	140,406,000	△ 492,000
預り金	7,219,043	1,274,923	5,944,120
仮受金	0	808,802	△ 808,802
流動負債合計	154,093,372	150,261,397	3,831,975
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	10,039,724	9,574,514	465,210
退職給付引当金	47,931,625	40,989,280	6,942,345
固定負債合計	57,971,349	50,563,794	7,407,555
負債合計	212,064,721	200,825,191	11,239,530
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	886,500	1,403,500	△ 517,000
寄付金	5,991,562	10,221,249	△ 4,229,687
指定正味財産合計	6,878,062	11,624,749	△ 4,746,687
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(3,854,153)	(5,656,068)	(△ 1,801,915)
2. 一般正味財産	908,244,875	910,024,844	△ 1,779,969
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(487,183,568)	(461,790,532)	(25,393,036)
正味財産合計	915,122,937	921,649,593	△ 6,526,656
負債及び正味財産合計	1,127,187,658	1,122,474,784	4,712,874

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科目	会計区分	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金		63,065,559	913,393	346,500,931		410,479,883
未収会費		12,000	0	12,000		24,000
未収入金		32,393,908	0	0		32,393,908
前払費用		319,888	0	524,372		844,260
他会計債権		0	6,608,041	458,412,275	△ 465,020,316	0
流動資産合計		95,791,355	7,521,434	805,449,578	△ 465,020,316	443,742,051
2. 固定資産						
1)基本財産						
基本財産合計		0	0	0	0	0
2)特定資産						
役員退職慰労引当資産		8,511,970	78,454	1,449,300		10,039,724
退職給付引当資産		40,730,730	362,399	6,838,496		47,931,625
看護会館取得資産		404,580,055	1,557,389	80,546,124		486,683,568
記念事業積立資産		0	0	500,000		500,000
什器備品		2,863,236	0	0		2,863,236
ソフトウェア		990,917	0	0		990,917
特定資産合計		457,676,908	1,998,242	89,333,920	0	549,009,070
3)その他固定資産						
建物		76,030,676	522,617	13,600,759		90,154,052
構築物		747,242	5,684	129,089		882,015
車両運搬具		11	0	0		11
什器備品		1,669,925	20,757	1,366,662		3,057,344
図書		31,510,222	0	0		31,510,222
リース資産		1,620,753	18,687	0		1,639,440
その他固定資産		5,719,233	89,990	0		5,809,223
電話加入権		993,923	4,509	188,058		1,186,490
保証金		87,877	268	16,855		105,000
リサイクル預託金		92,740	0	0		92,740
その他固定資産合計		118,472,602	662,512	15,301,423	0	134,436,537
固定資産合計		576,149,510	2,660,754	104,635,343	0	683,445,607
資産合計		671,940,865	10,182,188	910,084,921	△ 465,020,316	1,127,187,658
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金		101,496	0	4,482,773		4,584,269
リース債務		1,776,060	0	0		1,776,060
前受金		300,000	0	300,000		600,000
前受会費		69,957,000	0	69,957,000		139,914,000
預り金		429,246	0	6,789,797		7,219,043
他会計債務		465,020,316	0	0	△ 465,020,316	0
流動負債合計		537,584,118	0	81,529,570	△ 465,020,316	154,093,372
2. 固定負債						
役員退職慰労引当金		8,511,970	78,454	1,449,300		10,039,724
退職給付引当金		40,730,730	362,399	6,838,496		47,931,625
固定負債合計		49,242,700	440,853	8,287,796	0	57,971,349
負債合計		586,826,818	440,853	89,817,366	△ 465,020,316	212,064,721
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
国庫補助金		886,500	0	0		886,500
寄付金		5,991,562	0	0		5,991,562
指定正味財産合計		6,878,062	0	0		6,878,062
(うち基本財産への充当額)		(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)		(3,854,153)	(0)	(0)		(3,854,153)
2. 一般正味財産						
一般正味財産合計		78,235,985	9,741,335	820,267,555		908,244,875
(うち基本財産への充当額)		(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)		(404,580,055)	(1,557,389)	(81,046,124)		(487,183,568)
正味財産合計		85,114,047	9,741,335	820,267,555	0	915,122,937
負債及び正味財産合計		671,940,865	10,182,188	910,084,921	△ 465,020,316	1,127,187,658

正味財産増減計算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
1) 経常収益			
特定資産運用益	[190,327]	[1,057,218]	[△ 866,891]
特定資産受取利息	190,327	1,057,218	△ 866,891
受取入金	[24,972,000]	[26,412,000]	[△ 1,440,000]
受取入金	24,972,000	26,412,000	△ 1,440,000
受取会費	[168,228,000]	[171,474,000]	[△ 3,246,000]
正会員受取会費	168,228,000	171,474,000	△ 3,246,000
事業収益	[199,540,739]	[198,110,179]	[1,430,560]
教育研修会参加料	53,411,497	50,642,561	2,768,936
看護職員の資質向上研修事業受託料	19,153,399	7,304,707	11,848,692
ナースセンター事業受託料	42,632,000	42,632,000	0
ナースセンター会館管理受託料	6,384,800	5,840,000	544,800
小児救急電話相談事業等受託料	1,235,900	1,192,300	43,600
日本看護協会受託料	8,348,007	19,839,772	△ 11,491,765
訪問看護療養費収益	50,400,978	52,299,263	△ 1,898,285
基本利用料収益	3,539,165	3,996,974	△ 457,809
その他の利用料収益	1,253,660	1,126,929	126,731
居宅介護支援事業収益	5,139,678	5,385,746	△ 246,068
受取手数料	605,661	367,073	238,588
介護職員等対象喀痰吸引研修事業受託料	370,000	0	370,000
認知症支援事業	6,700,000	6,700,000	0
その他の事業収益	365,994	782,854	△ 416,860
受取補助金等	[10,117,810]	[10,120,540]	[△ 2,730]
(公社)日本看護協会助成金	9,600,810	9,603,540	△ 2,730
受取補助金振替額	517,000	517,000	0
受取寄付金	[4,829,687]	[9,473,294]	[△ 4,643,607]
受取寄付金	600,000	765,870	△ 165,870
受取寄付金振替額	4,229,687	8,707,424	△ 4,477,737
雑収益	[1,137,310]	[148,225]	[989,085]
受取利息	4,452	5,110	△ 658
雑収益	1,132,858	143,115	989,743
経常収益計	409,015,873	416,795,456	△ 7,779,583
2) 経常費用			
事業費	[356,495,477]	[349,808,651]	[6,686,826]
役員報酬	27,419,232	24,606,081	2,813,151
給与手当	130,449,556	128,438,460	2,011,096
賞与	23,498,231	23,276,033	222,198
通勤手当	7,146,280	5,922,606	1,223,674
役員退職慰労引当金繰入	2,020,491	1,877,606	142,885
退職給付費用	6,433,741	6,937,990	△ 504,249
法定福利費	28,958,543	27,783,272	1,175,271
福利厚生費	2,117,707	5,447,853	△ 3,330,146
会議費	515,693	304,302	211,391
旅費交通費	1,520,176	768,158	752,018
通信運搬費	11,156,241	10,459,823	696,418
減価償却費	19,134,749	19,228,380	△ 93,631
消耗品費	4,144,432	5,757,028	△ 1,612,596
修繕費	907,455	1,079,652	△ 172,197
印刷製本費	16,525,169	14,868,354	1,656,815
燃料費	490,027	469,255	20,772
光熱水料費	7,358,991	8,542,026	△ 1,183,035
賃借料	7,563,160	6,046,520	1,516,640
保険料	1,555,011	1,496,452	58,559
諸謝金	21,279,347	17,784,327	3,495,020
租税公課	8,273,666	10,835,407	△ 2,561,741
支払負担金	40,000	45,000	△ 5,000
支払手数料	2,747,901	3,049,324	△ 301,423
看護材料購入費	204,423	229,499	△ 25,076
管理諸費	20,304,843	21,567,516	△ 1,262,673
図書費	1,119,971	1,249,214	△ 129,243

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
委託費	1,772,100	626,000	1,146,100
広報費	1,579,442	957,360	622,082
雑費	258,899	155,153	103,746
管理費	[54,300,365]	[55,122,736]	[△ 822,371]
役員報酬	1,434,069	1,322,419	111,650
給与手当	19,824,672	20,272,240	△ 447,568
賞与	3,196,282	3,035,899	160,383
通勤手当	1,171,691	947,900	223,791
役員退職慰労引当金繰入	204,719	190,241	14,478
退職給付費用	508,604	394,870	113,734
法定福利費	3,910,235	3,640,438	269,797
福利厚生費	115,882	193,474	△ 77,592
会議費	793,237	468,277	324,960
旅費交通費	162,724	144,084	18,640
通信運搬費	2,888,813	2,864,099	24,714
減価償却費	1,789,830	2,349,115	△ 559,285
消耗品費	1,488,284	404,585	1,083,699
修繕費	241,851	94,419	147,432
印刷製本費	3,412,926	3,982,534	△ 569,608
光熱水料費	852,954	919,417	△ 66,463
賃借料	2,920,931	2,329,303	591,628
保険料	156,097	147,340	8,757
諸謝金	45,600	134,998	△ 89,398
租税公課	1,567,266	2,056,325	△ 489,059
支払寄付金	300,000	0	300,000
支払負担金	181,500	268,875	△ 87,375
支払手数料	3,955,091	6,028,093	△ 2,073,002
管理諸費	1,778,031	1,981,483	△ 203,452
交際費	328,091	181,935	146,156
図書費	339,249	316,880	22,369
広報費	676,736	376,493	300,243
雑費	55,000	77,000	△ 22,000
経常費用計	410,795,842	404,931,387	5,864,455
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,779,969	11,864,069	△ 13,644,038
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,779,969	11,864,069	△ 13,644,038
2. 経常外増減の部			
1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
2) 経常外費用			
固定資産売却損	[0]	[1]	[△ 1]
車両運搬具売却損	0	1	△ 1
固定資産除却損	[0]	[1]	[△ 1]
什器備品除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	2	△ 2
当期経常外増減額	0	△ 2	2
当期一般正味財産増減額	△ 1,779,969	11,864,067	△ 13,644,036
一般正味財産期首残高	910,024,844	898,160,777	11,864,067
一般正味財産期末残高	908,244,875	910,024,844	△ 1,779,969
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 4,746,687	△ 9,224,424	4,477,737
一般正味財産への振替額	△ 4,746,687	△ 9,224,424	4,477,737
当期指定正味財産増減額	△ 4,746,687	△ 9,224,424	4,477,737
指定正味財産期首残高	11,624,749	20,849,173	△ 9,224,424
指定正味財産期末残高	6,878,062	11,624,749	△ 4,746,687
III 正味財産期末残高	915,122,937	921,649,593	△ 6,526,656

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	会計区分	収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計
		公益目的 事業会計	施設の貸与 等事業	販売手数料 及び出展広 告料に関する 事業	福利厚生等 に関する事業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
1) 経常収益								
特定資産運用益	[158,444]	[0]	[0]	[0]	[0]	[31,883]		[190,327]
特定資産受取利息	158,444	0	0	0	0	31,883		190,327
受取入会金	[12,486,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[12,486,000]		[24,972,000]
受取入会金	12,486,000	0	0	0	0	12,486,000		24,972,000
受取会費	[84,114,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[84,114,000]		[168,228,000]
正会員受取会費	84,114,000	0	0	0	0	84,114,000		168,228,000
事業収益	[194,149,697]	[0]	[5,358,381]	[32,661]	[5,391,042]	[0]		[199,540,739]
教育研修会参加料	53,411,497	0	0	0	0	0		53,411,497
看護職員の資質向上研修事業受託料	19,153,399	0	0	0	0	0		19,153,399
ナースセンター事業受託料	42,632,000	0	0	0	0	0		42,632,000
ナースセンター会館管理受託料	6,384,800	0	0	0	0	0		6,384,800
小児救急電話相談事業等受託料	1,235,900	0	0	0	0	0		1,235,900
日本看護協会受託料	3,562,626	0	4,785,381	0	4,785,381	0		8,348,007
訪問看護療養費収益	50,400,978	0	0	0	0	0		50,400,978
基本利用料収益	3,539,165	0	0	0	0	0		3,539,165
その他の利用料収益	1,253,660	0	0	0	0	0		1,253,660
居宅介護支援事業収益	5,139,678	0	0	0	0	0		5,139,678
受取手数料	0	0	573,000	32,661	605,661	0		605,661
介護職員等対象喀痰吸引研修事業受託料	370,000	0	0	0	0	0		370,000
認知症支援事業	6,700,000	0	0	0	0	0		6,700,000
その他の事業収益	365,994	0	0	0	0	0		365,994
受取補助金等	[10,117,810]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]		[10,117,810]
(公社)日本看護協会助成金	9,600,810	0	0	0	0	0		9,600,810
受取補助金振替額	517,000	0	0	0	0	0		517,000
受取寄付金	[4,829,687]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]		[4,829,687]
受取寄付金	600,000	0	0	0	0	0		600,000
受取寄付金振替額	4,229,687	0	0	0	0	0		4,229,687
雑収益	[251,173]	[28,000]	[83]	[800]	[28,883]	[857,254]		[1,137,310]
受取利息	1,392	0	83	0	83	2,977		4,452
雑収益	249,781	28,000	0	800	28,800	854,277		1,132,858
経常収益計	306,106,811	28,000	5,358,464	33,461	5,419,925	97,489,137	0	409,015,873
2) 経常費用								
事業費	[349,333,640]	[0]	[476,670]	[6,685,167]	[7,161,837]	[0]		[356,495,477]
役員報酬	27,419,232	0	0	0	0	0		27,419,232
給与手当	129,539,991	0	255,815	653,750	909,565	0		130,449,556
賞与	23,347,185	0	42,481	108,565	151,046	0		23,498,231
通勤手当	7,096,897	0	14,109	35,274	49,383	0		7,146,280
役員退職慰労引当金繰入	2,020,491	0	0	0	0	0		2,020,491
退職給付費用	6,433,741	0	0	0	0	0		6,433,741
法定福利費	28,783,084	0	50,131	125,328	175,459	0		28,958,543
福利厚生費	444,814	0	586	1,672,307	1,672,893	0		2,117,707
会議費	515,272	0	140	281	421	0		515,693
旅費交通費	1,520,176	0	0	0	0	0		1,520,176
通信運搬費	11,047,355	0	10,130	98,756	108,886	0		11,156,241
減価償却費	19,066,981	0	18,504	49,264	67,768	0		19,134,749
消耗品費	4,125,685	0	6,249	12,498	18,747	0		4,144,432
修繕費	903,758	0	118	3,579	3,697	0		907,455
印刷製本費	16,525,169	0	0	0	0	0		16,525,169
燃料費	490,027	0	0	0	0	0		490,027
光熱水料費	7,338,922	0	1,584	18,485	20,069	0		7,358,991
賃借料	7,558,570	0	361	4,229	4,590	0		7,563,160
保険料	1,551,340	0	289	3,382	3,671	0		1,555,011
諸謝金	21,279,347	0	0	0	0	0		21,279,347
租税公課	8,167,201	0	72,878	33,587	106,465	0		8,273,666
支払負担金	40,000	0	0	0	0	0		40,000
支払手数料	2,747,726	0	58	117	175	0		2,747,901
看護材料購入費	204,423	0	0	0	0	0		204,423

(単位:円)

科目	会計区分	収益事業等会計				計	法人会計	内部取引 消去	合計
		公益目的 事業会計	施設の貸与 等事業	販売手数料 及び出展広 告料に関する 事業	福利厚生等 に関する事業				
管理諸費		16,435,841	0	3,237	3,865,765	3,869,002	0		20,304,843
図書費		1,119,971	0	0	0	0	0		1,119,971
委託費		1,772,100	0	0	0	0	0		1,772,100
広報費		1,579,442	0	0	0	0	0		1,579,442
雑費		258,899	0	0	0	0	0		258,899
管理費		[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[54,300,365]		[54,300,365]
役員報酬							1,434,069		1,434,069
給与手当							19,824,672		19,824,672
賞与							3,196,282		3,196,282
通勤手当							1,171,691		1,171,691
役員退職慰労引当金繰入							204,719		204,719
退職給付費用							508,604		508,604
法定福利費							3,910,235		3,910,235
福利厚生費							115,882		115,882
会議費							793,237		793,237
旅費交通費							162,724		162,724
通信運搬費							2,888,813		2,888,813
減価償却費							1,789,830		1,789,830
消耗品費							1,488,284		1,488,284
修繕費							241,851		241,851
印刷製本費							3,412,926		3,412,926
光熱水料費							852,954		852,954
賃借料							2,920,931		2,920,931
保険料							156,097		156,097
諸謝金							45,600		45,600
租税公課							1,567,266		1,567,266
支払寄付金							300,000		300,000
支払負担金							181,500		181,500
支払手数料							3,955,091		3,955,091
管理諸費							1,778,031		1,778,031
交際費							328,091		328,091
図書費							339,249		339,249
広報費							676,736		676,736
雑費							55,000		55,000
経常費用計		349,333,640	0	476,670	6,685,167	7,161,837	54,300,365	0	410,795,842
評価損益等調整前当期経常増減額		△ 43,226,829	28,000	4,881,794	△ 6,651,706	△ 1,741,912	43,188,772	0	△ 1,779,969
基本財産評価損益等		0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等		0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等		0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計		0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額		△ 43,226,829	28,000	4,881,794	△ 6,651,706	△ 1,741,912	43,188,772	0	△ 1,779,969
2. 経常外増減の部									
1) 経常外収益									
経常外収益計		0	0	0	0	0	0	0	0
2) 経常外費用									
経常外費用計		0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 43,226,829	28,000	4,881,794	△ 6,651,706	△ 1,741,912	43,188,772	0	△ 1,779,969
他会計振替額		5,000,000	0	△ 5,000,000	6,651,706	1,651,706	△ 6,651,706		0
当期一般正味財産増減額		△ 38,226,829	28,000	△ 118,206	0	△ 90,206	36,537,066	0	△ 1,779,969
一般正味財産期首残高		116,462,814	5,003,951	4,792,370	35,220	9,831,541	783,730,489		910,024,844
一般正味財産期末残高		78,235,985	5,031,951	4,674,164	35,220	9,741,335	820,267,555	0	908,244,875
II 指定正味財産増減の部									
一般正味財産への振替額		△ 4,746,687	0	0	0	0	0		△ 4,746,687
一般正味財産への振替額		△ 4,746,687	0	0	0	0	0		△ 4,746,687
当期指定正味財産増減額		△ 4,746,687	0	0	0	0	0	0	△ 4,746,687
指定正味財産期首残高		11,624,749	0	0	0	0	0		11,624,749
指定正味財産期末残高		6,878,062	0	0	0	0	0	0	6,878,062
III 正味財産期末残高		85,114,047	5,031,951	4,674,164	35,220	9,741,335	820,267,555	0	915,122,937

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

1) 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く)

①建物、建物付属設備、構築物

平成10年3月31日以前取得のものについては定率法により、

平成10年4月1日以降取得のものについては定額法によっている。(建物付属設備、構築物を除く)

建物付属設備及び構築物は平成28年4月1日以降取得のものについては定額法によっている。

②車両運搬具、什器備品、その他固定資産

定率法によっている。

(2)無形固定資産(リース資産を除く)

①その他固定資産

定額法によっている。

(3)リース資産

①所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

2) 引当金の計上基準

(1)役員退職慰労引当金

役員退職給付に備えるため、内規に基づく必要額を計上している。

(2)退職給付引当金

職員退職給付に備えるため、当期末における退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
役員退職慰労引当資産	9,574,514	2,225,210	1,760,000	10,039,724
退職給付引当資産	40,989,280	6,942,345	0	47,931,625
看護会館取得資産	461,790,532	24,893,036	0	486,683,568
記念事業積立資産	0	500,000	0	500,000
什器備品	4,148,151	2,530,000	3,814,915	2,863,236
ソフトウェア	1,507,917	0	517,000	990,917
合 計	518,010,394	37,090,591	6,091,915	549,009,070

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
役員退職慰労引当資産	10,039,724	0	0	10,039,724
退職給付引当資産	47,931,625	0	0	47,931,625
看護会館取得資産	486,683,568	0	486,683,568	0
記念事業積立資産	500,000	0	500,000	0
什器備品	2,863,236	2,863,236	0	0
ソフトウェア	990,917	990,917	0	0
合 計	549,009,070	3,854,153	487,183,568	57,971,349

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
什器備品	13,282,430	10,419,194	2,863,236
ソフトウェア	2,585,000	1,594,083	990,917
小 計	15,867,430	12,013,277	3,854,153
その他固定資産			
建物	363,016,492	272,862,440	90,154,052
構築物	32,718,157	31,836,142	882,015
車両運搬具	9,539,746	9,539,735	11
什器備品	75,890,342	72,832,998	3,057,344
図書	31,510,222	0	31,510,222
リース資産	23,409,000	21,769,560	1,639,440
その他固定資産	61,492,672	55,683,449	5,809,223
小 計	597,576,631	464,524,324	133,052,307
合 計	613,444,061	476,537,601	136,906,460

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
教育事業(研修)助成金	日本看護協会	0	9,500,810	9,500,810	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
委託費						
千葉県喀痰吸引等指導者養成講習業務	千葉県	0	884,000	884,000	0	
千葉県看護教員養成講習会事業	千葉県	0	15,112,399	15,112,399	0	
千葉県医療的ケア児等総合支援事業	千葉県	0	957,000	957,000	0	
千葉県看護職員認知症対応力向上研修事業	千葉県	0	1,100,000	1,100,000	0	
千葉市看護職員認知症対応力向上研修事業	千葉市	0	1,100,000	1,100,000	0	
千葉県ナースセンター事業管理運営事業	千葉県	0	49,016,800	49,016,800	0	
千葉市認知症初期集中支援チーム運営事業	千葉市	0	6,700,000	6,700,000	0	
千葉県小児救急電話相談事業	千葉県医師会	0	1,235,900	1,235,900	0	
会員登録事務業務	日本看護協会	0	4,615,790	4,615,790	0	
代議員選出に関する業務	日本看護協会	0	169,591	169,591	0	
新型コロナウイルス感染症対応人材確保業務	日本看護協会	0	1,396,778	1,396,778	0	
災害支援ナース派遣に係る事業	日本看護協会	0	432,000	432,000	0	
看護補助者キャンペーン事業	日本看護協会	0	150,000	150,000	0	
自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント事業	日本看護協会	0	200,000	200,000	0	
医療安全管理者養成研修事務委託	日本看護協会	0	656,340	656,340	0	
認知症高齢者の看護実践事務委託	日本看護協会	0	727,508	727,508	0	
補助金(指定正味財産)						
生産性向上IT導入支援事業補助金	経済産業省	1,403,500	0	517,000	886,500	指定正味財産
寄付金(指定正味財産)						
新型コロナ感染症対策及び看護師の資質向上の為の寄付	生活協同組合 コープみらい 他	10,221,249	0	4,229,687	5,991,562	指定正味財産
合 計		11,624,749	94,054,916	98,801,603	6,878,062	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内容

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容		金 額
受取補助金	目的達成による指定解除額	0
	減価償却費計上による振替額	517,000
	小 計	517,000
受取寄付金	目的達成による指定解除額	414,772
	減価償却費計上による振替額	3,814,915
	小 計	4,229,687
合 計		4,746,687

7. 関連当事者との取引の内容

該当なし

8. 重要な後発事象

該当なし

9. その他

1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

主として研修機材及び事務機器等の什器備品である。

(2) リース資産の減価償却の方法

重要な会計方針「1) 固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりである。

2) 報告事業の区分方法の変更

当会計年度より、事業管理区分の見直しを行った。

附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	9,574,514	2,225,210	1,760,000	0	10,039,724
退職給付引当金	40,989,280	6,942,345	0	0	47,931,625

財産目録
令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許現金	運転資金として	10,000
普通預金	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	17,256,119
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	245,187,863
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	913,393
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	42,671,091
	千葉銀行 本店営業部	新型コロナウイルス感染症対策等対応寄付金	3,128,349
	千葉興業銀行 本店	運転資金として	39,681
	千葉興業銀行 本店	能登地震義援金預り口	1,395,957
	京葉銀行 本店	運転資金として	38,927
	京葉銀行 本店	能登地震義援金預り口	381,821
	千葉銀行 本店営業部	能登地震義援金預り口	2,588,858
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	1,867,824
定期預金	千葉銀行 本店営業部		35,000,000
	千葉興業銀行 本店		30,000,000
	京葉銀行 本店		30,000,000
未収会費		令和5年度 年会費・入会金	24,000
未収入金		訪問看護・居宅事業(公益目的事業)にかかるもの 看護職員養成講習会受託料等	11,929,609 20,464,299
前払費用		翌年度以降相当分保険料他	844,260
流動資産合計			443,742,051
(固定資産)			
特定資産			
役員退職慰労引当資産	千葉銀行 本店営業部 普通預金	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	10,039,724
退職給付引当資産	千葉銀行 本店営業部 普通預金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	6,137,385
	千葉銀行 本店営業部 定期預金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	36,000,000
	千葉銀行 本店営業部 定期預金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,794,240
看護会館取得資産	千葉銀行 本店営業部 普通預金	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	26,683,568
	千葉銀行 本店営業部 定期預金	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	260,000,000
	大和ネクスト銀行	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	100,000,000
	大和証券 債券(3-8千葉県5年)	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	100,000,000
記念事業積立資産	千葉銀行 本店営業部 定期預金	50周年記念事業資金として	500,000
什器備品	看護会館内の コロナ対策什器備品一式	新型コロナウイルス感染症対策指定寄付による購入什器備品	2,863,236
ソフトウェア	看護会館内の研修ソフト	国庫補助金指定によるオンライン研修管理システム	990,917

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
その他固定資産	建物	会館及び別館	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	76,030,676
			収益事業等の用に供している	522,617
			管理運営の用に供している	13,600,759
	構築物	看板工事等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	747,242
			収益事業等の用に供している	5,684
			管理運営の用に供している	129,089
	車両運搬具	訪問看護用車両11台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	11
			収益事業等の用に供している	0
			管理運営の用に供している	0
	什器備品	看護会館内の 什器備品一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	1,669,925
			収益事業等の用に供している	20,757
			管理運営の用に供している	1,366,662
	図書	書物一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	31,510,222
	リース資産	研修用機材 及び事務機器等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	1,620,753
			収益事業等の用に供している	18,687
			管理運営の用に供している	0
	その他固定資産	ソフトウェア・システム等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	5,719,233
			収益事業等の用に供している	89,990
			管理運営の用に供している	0
	電話加入権	本館及び別館 電話加入権	相談事業用電話 245-0008 他	1,186,490
	保証金	警備保障契約保証金 駐車場賃借保証金		100,000
			5,000	
リサイクル預託金	訪問看護用車両11台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	92,740	
固定資産合計			683,445,607	
資産合計			1,127,187,658	

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)			
未払金	令和6年3月分 社会保険料 他	公益目的事業及び管理運営の支出に 供する経費・備品等の未払金	4,584,269
リース債務	リコーリース(株)他	公益目的事業及び管理運営の支出に 供するリース債務	1,776,060
前受金	令和6年度入会金	公益目的事業及び管理運営の支出に 供する入会金の前受分	600,000
前受会費	令和6年度年会費	公益目的事業及び管理運営の支出に 供する会費の前受分	139,914,000
預り金	能登地震義援金預り 令和6年3月分源泉所得税 他		4,366,636 2,852,407
流動負債合計			154,093,372
(固定負債)			
役員退職慰労引当金	期末退職給付要支給額	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	10,039,724
退職給付引当金	期末退職給付要支給額	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	47,931,625
固定負債合計			57,971,349
負債合計			212,064,721
正味財産			915,122,937

令和5年度資金調達及び設備投資の実績について

1) 資金調達の実績について

借入れの実績		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	借入先	金額	
		円	

2) 設備投資の実績について

設備投資の実績		<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入 の実績額	資金調達方法又は 取得資金の用途
法人	防犯カメラシステム一式	935,000円	自己資金
法人	かんごちゃん着ぐるみ一式	465,437円	日本看護協会から受贈
公1	研修用ハイブリッドカメラ一式	2,530,000円	寄付金
公1	介護保険システム（ソフトウェア）	1,336,500	自己資金
法人	新役員室OAフロア設置工事一式	771,100円	自己資金

独立監査人の監査報告書

令和6年4月26日

公益社団法人 千葉県看護協会
会長 寺口 恵子 様

大嶋幸児公認会計士事務所

千葉県千葉市

公認会計士

大嶋 幸児 

<財務諸表等監査>

監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益社団法人千葉県看護協会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するも

のではない。財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような

事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益社団法人千葉県看護協会の令和6年3月31日現在の令和5年度事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

公益社団法人千葉県看護協会
会 長 寺 口 恵 子 様

令和5年度における公益社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の管理、執行状況について、令和5年度監事監査実施計画に基づき、第1回（令和5年11月15日）及び第2回（令和6年5月9日）監査を実施したので、その結果を報告する。

監査の方法

- 1 業務に関しては、事業実績調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長(代表理事)及び業務執行理事から報告と説明を受け関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関しては、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等により報告と説明を受け、また公認会計士からの監査報告書を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

監査意見

業務執行、予算執行、財産の管理について、正確かつ適正に処理されていることを認める。

令和6年5月9日

公益社団法人千葉県看護協会

監 事 青 木 隆

監 事 澤 田 一 子

監 事 茅 野 香 子